

|                               |             |    |
|-------------------------------|-------------|----|
| 会長のページ 30年診療報酬改定 .....        | 河野 雅行       | 3  |
| 日州医談 地域における若手医師不足問題について ..... | 米澤 勤        | 4  |
| 随 筆 忘れ難い入れ墨 .....             | 森 憲正        | 6  |
| 久しぶりのガーデニング .....             | 友成 久雄       | 8  |
| 若山健海と『種痘人名録』についての考察 .....     | 大西 雄二       | 10 |
| エコー・リレー(511) .....            | 杉江 悟, 瀧井 英一 | 12 |
| 宮崎グルメ探訪 No.5 おがわ作小屋 .....     | 田中 宏幸       | 13 |
| メディアの目 スポーツ愛好で健康増進 .....      | 濃明 修        | 14 |
| 国公立病院だより(県立日南病院) .....        | 峯 一彦        | 20 |
| 宮崎大学医学部だより(附属図書館医学分館) .....   | 賀本 敏行       | 22 |
| 専門分科医会だより(放射線科医会) .....       | 平井 俊範       | 23 |
| 診療メモ 知っておきたい鎮痛薬の使い分け .....    | 立山 真吾       | 62 |

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| あなたできますか?(平成28年度医師国家試験問題より) .....     | 15 |
| 宮崎県感染症発生動向 .....                      | 16 |
| 各郡市医師会だより .....                       | 18 |
| 九州医師会連合会第368回常任委員会 .....              | 24 |
| 平成29年度日本医師会女性医師支援センター事業九州ブロック会議 ..... | 25 |
| 日医インターネットニュースから .....                 | 28 |
| 医師国保組合だより .....                       | 33 |
| 理 事 会 日 誌 .....                       | 34 |
| 県 医 の 動 き .....                       | 38 |
| 追悼のことば .....                          | 39 |
| 会員の異動・変更報告 .....                      | 40 |
| ベストセラー .....                          | 42 |
| ドクターバンク情報 .....                       | 43 |
| 行 事 予 定 .....                         | 49 |
| 医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 .....            | 51 |
| 宮大医学部学生のページ .....                     | 64 |
| あ と が き .....                         | 68 |

お知らせ 勤務医・研修医の先生へお知らせ ～春の異動シーズンに備えて～

|                              |    |
|------------------------------|----|
| (医師会・医師協同組合) .....           | 30 |
| 医療事故調査制度 相談窓口 .....          | 42 |
| 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています ..... | 47 |
| 宮崎県医療勤務改善支援センター .....        | 61 |
| 郡市医師会への送付文書 .....            | 66 |

## 医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年 3 月12日制定)

〔表紙作品:写真〕

### 夜のランディング

大阪空港東南端に位置する千里川堤防で撮影しました。夜景と大迫力の着陸シーンが、マニアの間では有名なスポットです。当日は風が強く寒い日でしたが、がまんを重ね撮影した一枚です。

CANON EOS 6D レンズ EF100-400

f4.5 1/125秒

日向市 わた なべ ひろ ゆき  
渡 邊 裕 之

## 会長のページ

## 30年診療報酬改定

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

本年は診療報酬と介護報酬の同時改定です。この稿が皆様の目に触れる頃には具体的な数字が出ているものと思われます。政府は労働者の3%賃上げを唱えていますが、医療に関しては診療報酬が上がらないことには、賃上げの原資となるものはありません。このままでは全労働者の1割を占めるといわれる医療関係者は賃上げから取り残されることになります。幸いマイナス改定の当初予想に反して、今回の診療報酬改定では0.55%の増加でした。介護報酬は0.54%、身障者報酬は0.4%でした。しかし国の提唱している給料3%アップを医療関係者に適応するとすれば、識者に拠ると、診療報酬を不可能に近い7%以上アップする必

要があるとの試算もあります。医療・介護は財政事情とある程度リンクするのはやむを得ないと思われます。医療は営利を目的としてはならないと、崇高な理念で縛られています。しかし、実際の社会は営利を目的としない業種はあるのでしょうか？ 少なくとも税務上では昔はいざ知らず現在ではそれ程に他業種と差があるようには感じられません。介護も同様に営利目的から外すべきであろうと思われます。介護事業者に様々な業種から参入させたことにより一部では大儲けをする業者があるようですが、これは言語道断です。医療・介護と他業種は理念が異なるのですから他業種が参入すれば多面的な取組みが期待できる反面、理念から外れた部分も多くなるのは当然です。

医師会は地域住民の健康を守る・地域医療を守ることが主目的ですが、医療従事者の生活を守ることも重要であると考えます。今や医療業界は時間外勤務の過多等からブラック業種との指摘もあるし、それまで是正しようとすれば更に巨額の診療報酬アップが必要となります。それでも我が国の地域医療が成り立っているのは、医療関係者の犠牲的貢献によって守られているのです。もし、医師が労働時間を厳守すれば直ちに地域医療は崩壊するでしょう。今でも医師不足が叫ばれていますが、そのような事態になれば医師数が今の倍でも足りません。

今回の改定でもみられるように医師会としては更に医政活動にも力を注ぐべきであり、更に、一般会員にも医政の重要性を再認識してもらう努力が必要です。様々な意見があり、それを自由に表現できる社会は健全ではあっても、目的によっては意見を統一することも必要と思われます。

診療報酬改定の度に、ある一派からは医師会は欲張り村の村長さんとか圧力団体であり横暴であるとか揶揄され、社会の敵みたいな構図が作られますが、地域医療を守るには担当する医療従事者自身の生活が不十分ではゆとりのある医療を提供することはできません。衣食足りて云々との格言もあります。診療報酬のアップは、一人医師のみが享受するのではなく、医療従事者の生活を安定させ、ひいては患者さんに安心安全の良い医療を提供することに繋がるのです。

(平成30年 2 月22日)

## 日州医談



## 地域における 若手医師不足問題について

理 事 <sup>よね</sup>米 <sup>ざわ</sup>澤 <sup>つとむ</sup>勤

宮崎県における若手医師不足について、私見を交えて考えてみたいと思います。

### 【新医師臨床研修制度】

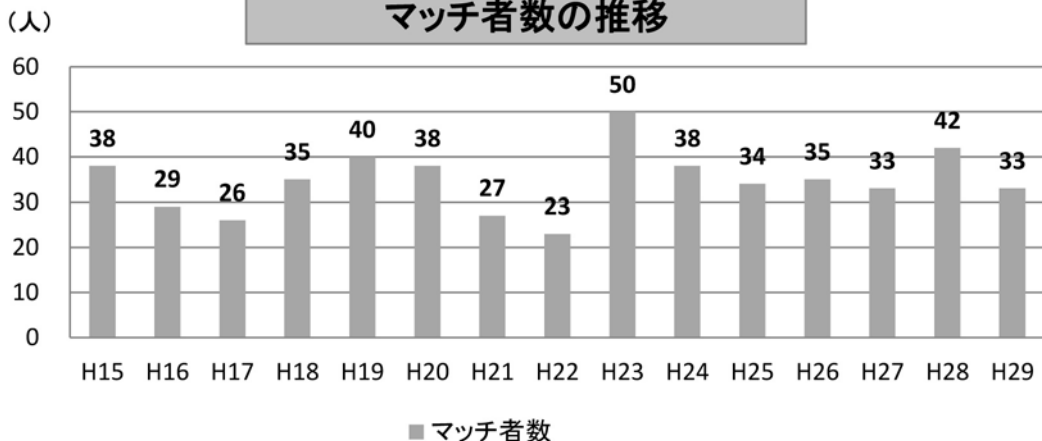
2004年から始まった新医師臨床研修制度より、大学病院の医局員の減少が止まりません。

多数の医学部卒業生(新研修医)がより多くの臨床症例を経験できるとされる、都市部の研修病院を選択することとなり、大学の医局入局者が極端に少なくなったのです。宮崎大学においても、関係各位の方々の様々な努力にもかかわらず、下の図に示しますようにマッチ者数の推移は苦戦を強いられています。これが、医局入局者の減少に直結しており、大学病院の機能維持や診療の質の確保のために、地域に派遣する

医師を減らす(引き揚げる)結果になっているものと思われます。

研修医確保対策として、高額の給与を出す施設(自治体)などの情報もありますが、効果のほどは定かではありません。やはり、基本はいかにも魅力的な研修プログラムを打ち出すことができるかどうかにかかっていることは間違いないところではありますが、仕事以外の生活面の充実も重要な部分を占めているのではないのでしょうか。結婚、出産、育児などの生涯プラン、趣味を含めたオフの過ごし方などです。宮崎県の地域の特性や魅力を今以上に発信していくことも必要だと思います。

宮崎大学卒後臨床研修プログラム  
マッチ者数の推移



宮大医学部附属病院医師研修管理委員会資料(平成29年11月14日開催)一部修正

**【新専門医制度】**

来年度から始まる新専門医制度が地域の医師不足にさらに影響を及ぼすことになりそうです。ご存知のように新専門医制度の目的とするところは“専門医”の質を担保するということですので、これに異論はありません。ただ、新専門医を目指す若い医師たちは、その目的に叶う「基幹病院」で研修することを希望しますが、この基幹病院は、大学病院や大病院に限られるということになりそうです。実働診療医師の確保も困難な状況の地域の中小病院では、指導医師の確保も困難であります。若い医師はますます地域から遠ざかっていく結果にならないでしょうか。

以上のような理由もあって、この制度のスタートは当初の予定から1年遅れました。昨年8月の厚生労働大臣の談話でも、地域医療への悪影響等の懸念に対し、専門医機構で行ってきた見直しの取組みに対して一定の評価を示されたものの、一方で、専攻医の応募の結果、基幹病院への応募の集中により地域医療に悪影響が生じるのではないかと、専攻医が望んだ地域・内容での研修を行えなくなるのではないかなど、懸念が未だ払拭されていないという認識も示されたとされています。

このような経過の中で様々な議論が重ねられ、いくつかの改善が加えられることとなったようです。しかし、11月に発表された1次登録結果を見ると、新医師臨床研修制度の時に起きたような激震が走り、第二の「医療崩壊」を招く兆候は明らかで、やはり制度設計自体に問題があるのではないかと考えます。

**【最後に】**

研修医確保、新専門医を目指す若手医師の確保に向けては、大学の担当教授を先頭に、様々な努力がなされていることは重々存じているところではありますが、宮崎大学をはじめとした宮崎県内の研修基幹病院では各協力病院などと協力を深め、研修医、専門医志願者にとってより魅力的な研修プログラムを提供していただきたいと思います。

話は少し変わりますが、宮崎大学医学部医学科の後援会と同窓会が平成30年4月1日をもって統合する運びとなりました。後援会が従来行っていました活動内容は、同窓会が引き続き行います。従来後援会の会員は、原則学生の保護者でありましたが、新同窓会組織では学生本人になります。

現在、「日州医事」におきましても、宮大医学部学生のページが設けられていますし、県医師会は、県との協力のもと様々なイベントを通じて研修医の確保に努めています。

今後、同窓会と協力することによって、学生のうちから医師会とのかかわりを持つことにより、宮崎の地域医療に関心を持っていただくという活動の可能性も、現実的になってきたと思います。

また、県医師会では「医師の婚活支援」にも取り組むこととなっています。この冊子が発行される頃には、第一回目の「婚活イベント」が行われているかもしれません。このような取り組みが、若手医師を地域に留まらせる一助となることを期待しています。

## 随 筆



## 忘れ難い入れ墨

宮崎市 もり 森

のり まさ 憲 正

秘書への暴言・暴行が明るみに出て、辞任、落選した女性議員の話題で賑わった。これに対し麻生副総理は「学歴だけ見たら一点の非もつけようのないほど立派だったけど。あれ女性ですよ、女性」とある会合でコメントした。怒号、暴行は女性にはあるまじき行為と言っているようである。

また11月3日来日して、東京都内で開催中の「国際女性会議WAW!」で、女性の起業や経済的自立をテーマに講演したドナルド・トランプ大統領の長女、イバンカ大統領補佐官がニュースを賑わした。

第二次世界大戦後の民主化政策により、選挙権を獲得、男女雇用機会均等法、男女共同参画社会基本法などの成立で、女性の社会的地位は向上しつつあるが、それでも世界各国と比較すると遅れているといわれている。男女の人権は平等で社会進出も当然そうであるが、身体活動や情緒、精神的感受性等の面での差は否めないのではないか。装飾的感覚の差もその一つであろう。

「男もすなる日記といふものを、女もしてみむとて、するなり」の土佐日記ではないが、日記が入れ墨となると如何であろうか。

入れ墨には芸術的身体装飾の意味があるのか詳らかではないが、これまで極道、やくざ、男性のものという先入観があった。日常のテレビ画面に映し出される野球やサッカーの外国人選手の腕には最近入れ墨が目立つようになったが、日本人選手には未だお目に掛かったことはない。外国の格闘技選手は殆ど皆入れ墨をして

いる。

近未来的に日本人選手にも、それも男性だけでなく女性にも入れ墨が見られるようになるかも知れない。

最近、入れ墨をした3人の妊産婦に遭遇した。浮腫の有無を見るため、ソックスを脱がせて偶然出会ったものである。足首や足指にそっと彫った可愛い程度のもので、入れ墨という厳めしい名で呼ぶより、タトゥーという方が似合っている。入れ墨を見られて別に悪怯れる様子もなく、会話でも、素直に応答し、やくざっぽい態度は見られない。

週に2、3時間の僅かな診療時間しか持っていないのに、短期間に3人もの入れ墨に遭遇したことから、可成り入れ墨が流行しているのであろうか。

人気時代劇、遠山の金さんは観客の前で威勢よく片肌脱いでトレードマークの彫り物「桜吹雪」を露出して見せるが、一般に本物の入れ墨との遭遇の場は銭湯というのが相場のようなのである。皮膚科の小野友道教授によると、彼自身<sup>1)</sup>も寺田寅彦、高木彬光、林芙美子<sup>2)</sup>も入れ墨と初対面したのは銭湯と言っている。入れ墨はその秘匿性が最大の本質的特性といわれていたもので、これまで脱衣した時しか人目に触れなかった。

筆者が初めて入れ墨を目の当たりにした場所は少し異なっていた。

病棟係をしていた昭和30年代の或る日、熊本で幅を利かせていたやくざの親分の妻(姉御)が急性腹症で緊急入院してきた。まだ妊娠反応薬や超音波診断装置などない時代で、臨床症状や

ダグラス窩穿刺等で子宮外妊娠と診断し、主治医となり、手術を担当させられた。当時、腰椎麻酔下に開腹手術をしていたが、手術台に寝かせ、側臥位にしてびっくり仰天。豊満な肉体の両肩、両腕から、臀部に至る背面一杯に広がる絢爛豪華な色彩鮮やかな入れ墨に圧倒され、一瞬、手術室はシーンと静まり返った。当時は未だ麻酔科は独立していなくて、外科系の診療科は各科で麻酔係を編成して、独自の麻酔を行っていた。その麻酔係りは目のやり場もなく、穿刺部位の選定に困っていたようであった。幸い、腹部には入れ墨はなく、迷うことなくメスを入れることが出来た。

入院中、個室のドアの前には門番として二人の手下が立って、やくざ間の抗争に備えて、警護に当たっていた。それだけなら未だ我慢できるが、その部屋に出入りする看護師たちにちょっかいを出して、困らせていた。看護部から主治医としての対応を迫られて、門番に直接掛け合っても、親分からの命令だと言って聞き入れてくれない。困った挙句、当時たまたま県警の暴力団対策課にいた中学時代の同級生を思い出し、電話で、どうにかしてくれと頼んだ処、その日の夕方から、門番は居なくなった。

親分は退院の日まで毎日病院に外車で乗り付けて、着流しに雪駄という出で立ちで、大勢の手下を従えて見舞いに来ていた。羽振りのいい親分の見舞いの行列は当時華やかであった教授回診にも劣らぬもので、威厳があった。親分に入れ墨があったかどうかは確かめていない。

入れ墨との初対面の方が銭湯ではなく、手術室で、しかも女性であったのは筆者の職業によるものであろう。それだけにインパクトは強烈で忘れられない。職業として人に脱衣させる点では医師も銭湯業者と同じということも学んだ。

また、当時は現在のように自動車は普及していなかった。医局で車を所持していたのは2、3人しかいなかった。況や外車など羨望の的であり、外車に乗っているのはやくざか開業医かと言われていた。

今年9月、入れ墨の彫り師が、医師免許がな

いと理由で、医師法違反に問われた裁判がニュースになった。入れ墨は皮膚障害やアレルギー反応を引き起こす危険性があり、医学的な知識や技能が不可欠として「医師が行わなければ、保健衛生上の危害を生じる危険性がある」という。しかし彫り師を生業にしている医師がいるのか、寡聞にして知らない。

また入れ墨は感染の危険性があり、その為、感染源としての危険性から献血供血者としては警戒されて、供血者問診票の質問事項の事前チェック項目にピアスと共に入れ墨が挙げられている<sup>3)</sup>。その他、磁性体を多く含む顔料が皮膚表面にあると、MRIで渦電流が発生し、火傷のおそれがある<sup>4)</sup>としてMRI検査を受ける際には注意が必要とも言われている。

入れ墨は芸術的産物ともいわれてきたが、現在では医学的にも看過できない問題を抱えるようになった。今後、若年者の間に一時的感情、ファッション感覚、あるいは流行によって安易に彫ることも予想される。一旦彫ってしまった後、消去するには形成外科的処置を必要とし、経済的にも負担が大きい。医学的立場からも事前に注意を促す必要があろう。

#### 参考文献

- 1) 小野友道：人の魂は皮膚にあるのか，p. 278，主婦の友社，平成14年7月。
- 2) 小野友道：いれずみの文化史，p.81～86，河出書房新社，平成22年9月。
- 3) 厚生省：「輸血療法の実施に関する指針」（改訂版），厚生労働省医薬食品局，平成17年9月。
- 4) Whitney D. Tope, et al : Magnetic Resonance Imaging and Permanent Cosmetics (Tattoos): Survey of Complications and Adverse Events. Journal of Magnetic Resonance Imaging 15 : 180-184 (2002). MRI in Medicine For Clinical Understanding & Application Vol. 3, No.2, p.11～12. August 2002（日本語抄訳版）より引用。

## 随 筆



## 久しぶりのガーデニング

西都市 西都病院 <sup>とも</sup>友 <sup>なり</sup>成 <sup>ひさ</sup>久 <sup>お</sup>雄

数年間休止状態だったガーデニングを昨年再開してみることにした。畳1畳もない小さい花壇、まず鍬で耕す。それから元肥の牛糞などをばらまいて、平坦にならす。これで苗を植える準備はオーケー。11月末、苗の仕入れに宮崎神宮の植木市に出かける。苗を選ぶのは一番目の楽しみである。植えたい花の種類と本数はおおよそ決めていた。苗を買ってくると直ぐにも植えたいくなるが、先ずはポットのままそれぞれの予定位置に置いてみる。すると一見完成した感じで、はやる気持が落ち着く。

以前に毎年植えていたサクラソウ科、プリムラ属のジュリアンは、もう自分のシーズンであるかのように咲きそろっている。その名はラテン語の「最初」に由来するが、他の花に先駆けて咲くことからだという。冬の間次々に花茎が伸びて咲き続け、鮮やかな色調が際立つ。それを前列の中央に植え、株は小さいが花卉が大きく印象の強いパンジーと、さらに小さく可憐なビオラをその左右に並べる。春にかけて株が大きくなり、晩春まで多数の花を付ける。

定番の一つで、花壇の中心花になるのは八重咲きのストック(アブラナ科)である。丈も高く分岐も多くて、ボリュームがある。中央の茎の

頭部は円筒状で、20個以上もの花卉が横向きに付いているのは珍しい。成長すると分枝にも花が付くから、1株全体の花の数は非常に多く、見応えがある。紫、黄、淡いピンクの3色、5株を選んで、もちろん花壇の中央に植える。

今回初めて植えたのは変わり咲きのサクラソウ。根元から細い花茎が株立ちのように多数伸びていて、桜に似た形の小さな花卉をおびたでしく多く付けている。ストックとともに今回のメインの花なので、ストックの手前に植える。

ハボタンは大、中、小の株を全部で12株植えた。大と中の株を左奥のコーナーに集めて植えると、かなり広いスペースを占め、強者のグループといった感じである。冬の間ほとんど変化せず、平気で寒さに耐えているかのようだ。雨の後に、中心の小さな葉に囲まれた部分に水が溜まると、透明な水晶のように輝く。春先から成長し始め、茎が伸びだして、葉の花のような黄色の花をつける。初めて植えたときは驚きだったが、このような変身は植えたことのある人でないとわからないだろう。ハボタンは何段にも重なった葉からも想像されるように、キャベツを元に日本で改良された品種で、ストックと同じアブラナ科。葉っぱの期間を楽しむのに

花ことばがあり、「記憶に残る思い」だというのが、その由来はわからなかった。

寒菊を3株植えてみたのだが、桃色の花が1株に5個から10個も付いている。茎の上部で分枝して、その頂上に花弁をつける。頭状花というが、八重咲きで、中心にある黄色い部分は細く短い筒状花が集まったもの。それらが折り重なるように付いていて、華やかである。寒菊は短日性なので、日が短くなると咲く。もうすでにシーズンに入っていて、花も大きいから目下のところ主役のように目立つ。

ところで、キクは耐寒性多年草で、歴史は古く、8～9世紀に中国より渡来したという。菊栽培が庶民の間に広まったのは江戸時代、元禄の頃である。観賞用は日本で独特の発展を遂げたが、栽培用はヨーロッパに渡って交配され、日本に逆輸入されたのだという。

初顔のガザニアがキク科というのは初めて知った。多年草で春から秋と花期が長い。花は朝開き、夕方閉じるという珍しい性質がある。群植されているのをよく見かけるが、数本でも鮮やかな金茶色の花は個性的な感じがする。

セキチクを大、小5本ずつ買ってしまったが、丈の高い方を、一般にナデシコと呼んでいるカワラナデシコと間違ったのである。どちらもダイアンサス属で、耐寒性など性質が強く、花期も長い。矮性の方が根元から分枝が多く出て、蕾が多い。ヤマトナデシコは日本原産のカワラナデシコの別名で、茎が細く弱々しい外見である。美しく優しい感じだが、芯の強さを秘めているという日本女性を象徴する言葉に転用されたのだという。科名はナデシコ科で、1科

に80属、2,000種もあるというから驚く。ダイアンサス属にはセキチクの他、中国原産のカラナデシコ、アメリカナデシコなどがあるが、カーネーションも同じ属だというのはやや意外な気がした。ちなみに、セキチクやナデシコの花ことばは「深い愛情」、「陽気な恋」だという。

花壇の花は全部で11種で、総数は61本になった。1種は3株から7株だが、花の色はできるだけ異なったものを選んだので、多彩である。花の数はまだ少ないのだが、株1本1本はどれもそれなりの美しさや愛らしさがある。1枚の大きなカラー写真があれば多くの言葉は要らないのだが…。私は花壇が完成したとき、達成感とともに新しい絵を飾った時のような感動を覚えた。

ガーデニングというにはあまりにも小規模だが、花を植えるという作業では手先をよく使い、また土に触れる快感を体験する。普段は感ずることのない草花の匂いに嗅覚も刺激されて、脳も活性化されるだろう。花を植えた後は毎日眺め、観察するのが楽しみになる。それとともに、水やりや花がら摘み、草抜きといった手入れが必要になるから、何か月かの間、身体をより多く動かすことになり、健康上も好ましいだろう。

花壇は玄関脇にあるから、家に出入りする人たちの目を少しは楽しませるだろうか。自分が作った作品みたいに、他人にも見てもらいたいという密かな願望があるのを否定できない。今回のガーデニングで、花への興味はなくなっていないことがわかったので、加齢現象の臆劫に負けず、今後も続けようと思う。

## 随 筆



## 若山健海と『種痘人名録』についての考察

宮崎市 大西医院 おおにしゆうじ 大西雄二

森鷗外が清武町出身の儒学者安井息軒の夫人を描いた「安井夫人」のなかに安井息軒の顔貌に痘瘡痕が甚だしかつたとある。上代以来日本人を脅かしつづけてきた痘瘡は、種痘の普及によって予防が可能になった。防疫を個人の手から国の手に移し、すべての人々に及ぼすためには種々の困難があった。障害は、封建制度に由来するものであった。防疫行政は、個々の支配者に任されており、統一的な防疫体制を確立することができなかった。そのうえ医師たちの技術の問題、痘苗の大量生産ができないなどの問題もあった。

1744（延享元）年、中国より人痘種法が伝えられた。痘瘡にかかった人の皮膚のかさぶたを擦りつぶし、これを鼻腔から吸入する方法であった。痘瘡の予防は進み大流行は回避されるようになった。しかし副作用がつよく、人命にかかわることもあり、また効果は必ずしも確実ではなかった。

1798年英国のエドワード・ジュンナーが安全性が高く効果の良い牛痘種法を発表した。1848（嘉永元）年、牛痘種法はオランダの医師モーニッケによって伝えられた。モーニッケ苗は、各地に伝えられた。同時にモーニッケは聴診器を伝えた。

## 宮崎県の各藩の記録

薩摩藩都城領では1849（嘉永2）年、藩主が医師を招聘し、領内に牛痘種法をおこなった。飢肥藩では1850（嘉永3）年、江戸藩邸では安井息軒が牛痘種法を奨励した。1852（嘉永5）年、領内の小児に接種させた。

歌人若山牧水の祖父若山健海は現在の埼玉県所沢市に生まれた。幼くして父を亡くし、母は再婚。孤児になりその後江戸の薬屋に奉公し漢学を学び、やがて1831（天保2）年長崎に行き、蘭学と西洋医学を学んだ。1836（天保7）年、26歳の時来県し、坪谷村に開業した。3年後の1839（天保10）年には言論弾圧の「蛮社の獄」が起こっている。時代は幕末の動乱期であり蘭学への規制は強かった。

1849（嘉永2）年長崎で牛痘種痘をいち早く学んだ。同年3月6日、福島邦成くになりとともに長男立蔵ほか10名に種痘を施した。わが国では最初の時期の牛痘種痘であり、医学界の先覚者の一人である。交通不便で文化の伝播も極めて遅かった時代に、僅か3年目に早くもこの地方にいきわたった。1887（明治20）年、76歳で死亡した。

『種痘人名録』が残っている。牛痘種法は嘉永2年を皮切りに安政、文久、慶応年間と行われた。地域は（現）宮崎市、美々津、東郷に及ぶ



種痘人名録の表紙



種痘人名録の内容

## 若山健海と幕末の年表

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 1811年 | 今の埼玉県所沢市で出生          |
| 1815年 | 杉田玄白『蘭学事始』           |
| 1825年 | 江戸に出て漢学を学ぶ           |
| 1828年 | シーボルト事件、出島に幽閉        |
| 1833年 | 長崎にて蘭医学を学ぶ           |
| 1836年 | 来県し坪谷に開業             |
| 1839年 | 言論弾圧の「蛮社の獄」          |
| 1849年 | 宮崎で牛痘種法              |
| 1850年 | 幕府、蘭書の翻訳出版を禁止        |
| 1853年 | ペルー来航                |
| 1857年 | オランダ医ポンペ来日西洋医学の教育始まる |
| 1868年 | 戊辰戦争、明治元年            |

261名の、種痘を施した人名を記したものである。1943（昭和19）年、若山牧水の高弟によって発見された。

## 種痘人名録

種痘Koepok伝嘉永西初春上旬到崎陽蘭人 Mohnike君為師得是術而帰干宮崎施之連名 三月六日福島退菴悻理一郎、若山健海悻立造…。(崎陽は長崎、蘭人はオランダ人)

現在、『種痘人名録』は美郷町坪谷の「牧水記念館」に保存され、展示されている。筆跡は若山健海のものである。この時期の名簿は皆無で、医学史上『種痘人名録』の希少性は特筆すべきである。

健海と『種痘人名録』について考察する。

何故、日向(宮崎)のそれも草深い坪谷に来たのか？

諸説あるがはっきりしない。牧水は「何かさうした人に知られぬ山の中へ隠れ度いか又隠れねばならぬ必要かがあって引っ込んだものに相違ない」(祖父の事)と書いている。

年表を対象してみると日本の動乱期である。この時代に埼玉から自由に国内を移動し研鑽を積む機会を得たことは驚きである。そして健海

には自分のいる地の人々に医療の恩恵を施す強い意志があったと思う。

何故、これほど早く牛痘種法を実施できたか？

健海は当時幕府による蘭学への規制が厳しい時代のなかで最新医学のオランダ医学を学び造詣を深めた。いち早く牛痘種法の効果を確認した開明性があった。時代の変革期に医師としての革新性、進取性がみてとれる。

何故、一般庶民にこれほど多数実施できたか？

他藩では領主の子弟から実施されているのに対し、藩の意向が及び難く自由な診療が可能な地域のため村民などに広く施すことができた。医療に対して医師や民衆には封建制の閉鎖性や守旧性に捉われないところがあった。

健海に時代の変革期に自分の意志を貫いた生涯をみる。健海には土着の人間とは違う「異邦人意識」が根底にあった。

牧水の歌風には「あくがれ」(いる所を離れて彷徨う)が基調にある。健海の自由で闊達の気風に孫の国民歌人牧水への血脈を感じる。

(文献は省略します。『種痘人名録』の写真は牧水記念館の許可をいただいています)

## エコー・リレー

(511回)

(南から北へ北から南へ)

## 原 点

宮崎市 竹迫医院 <sup>すぎ え</sup>杉 江 <sup>さとる</sup>悟

いきなり宣伝ですが(笑)、私9月に宮崎市大工町に「大工町すぎえ腎泌尿器科・内科」を開業させていただきます。ここで開業決意の原点となった言葉をご紹介します。

「未来を恐れず、過去に執着せず、今を生きろ」これはホリエモンこと堀江貴文さんによる近畿大学で卒業生に向けたスピーチでの名言です。周囲には多くの素晴らしい方々がいますが、必ずしもその人の意見が正しいかというと??です。

物事、正か誤かはその時代の流れ次第で変化するものであって、その答えを求めることすら無意味なのかもしれません。しかし、私にとってはその時代の流れを読むことに長けている人の意見はとても参考になります。

グローバル化が加速する日常社会では情報のスピードが速く、日々新しいことが生まれ、常に変化しています。昨日まで正しかったことが今日は通用しないということを日常診療はもちろん、マスメディアを通じて日々痛感しています。なのでこれからの時代はどんどん新しい情報にアンテナをはって、その中で何が正しいかを自分で判断していかなければならないと思います。今の常識は10年後には通用していない気がします。

日本人は協調性を大切にしている周りの人に合わせる事が得意ですが、そのために組織が固すぎて変化に対応する力が弱いと思います。そう考えるとこの言葉はすごく未来が見えていて心に響きます。

私も今を(これから)頑張りたいと思いました。

[次回は、宮崎市の三橋 龍馬先生をお願いします]

## 情報化社会

川南町 川南病院 <sup>たき い えい いち</sup>瀧 井 英 一

「お父さんの考え方は古いんよね!」小学4年生の息子によく言われる一言です。普段は頭ごなしに言い包めてしまっていたのですが、たまには息子の言いぶんも

聞いてみようと思いました。サッカーを習っている息子。サッカーの練習法についての会話になった時、熱血指導を勧める僕に対し…コーチがいろいろ研究してくれて効率のいいやり方を教えてくれる。昔は何年もかかって出来ていた事が今は1年で出来るようになる…と。息子よ…それは少し違うぞ…と思いながらも、一理あるなと思いました。確かに、医学の世界でも数年前まで正しいと言われていた事が、今は間違っていたりします。トップアスリートの世界もフィジカル及びメンタルトレーニング効率の向上や、社会的介入により進化が止みません。インターネットが普及した現在の情報量は10年前の400-500倍だそうです。調べ物をするにも、人に聞いたり本で調べたりと時間がかかっていた事が今ではインターネットで一発です。一見便利な世の中ですが、精神的な成長期に莫大な情報量の中から真理を見抜かなくてはならない子供たちは大変であり、僕ら以上にそれを必要とされているような気がします。価値観は世代で変わりますが、情報化社会で育った子供たちこそ、物事の本質を見極めていける世代なのかもしれません。時代に取り残されないようにしなければ…よし!今週末は2年前から画面が割れたままになっているスマホを買い替えに行こう…笑

[次回は、宮崎市の足利 敬一先生をお願いします]

## 宮崎グルメ探訪

No.5



## おがわ作小屋

宮崎市 神宮医院 田中宏幸

西米良村の山奥に在る〈おがわ作小屋村〉の中心に建つ古民家群は、宿泊もできる長閑な観光地として今脚光を浴びている。

ランチで注文した四角い器には16種の料理が小皿に盛り付けられてあった。婦人会が地元の食材だけで創る人気メニュー。今回は小川豆腐、カラーピーマンの和え物、白和え、栗の渋皮煮、柚子味噌、椎茸天ぷら、から芋餅、柿寒天等が出され、特に美味しかったのがおからの天ぷらだった。これにご飯と団子汁が付く。山菜を好まぬ私だが、他では味わえぬ小皿をつつく気になった。

県道219号線途中から316号線に入って20分ほどの場所に在る小川地区は住人が約100人で、紅葉も桜も綺麗で記念館、奥には瀑布も。観光客数は年間2万人を越し食事する人は16,000人に上る。『おがわ四季御膳』は毎月内容が異なり猪肉や鹿肉等も出されるが、多い日には100食の注文があると云う。天井が高く囲炉裏も備わった広い座敷で30人入る。多い日には2時間待たされるが予約可能。5月がお奨めと聞けるが、今回は待つ間に紅葉も撮影できた時期で2重に楽しめた。



『おがわ四季御膳』



おがわ作小屋村の中心部 (2017年11月19日)

## 「宮崎グルメ探訪」原稿募集

ご好評いただいております「宮崎グルメ探訪」の原稿を募集いたします。お気に入りのお店の雰囲気やお薦め料理、お店での思い出話など何でも結構です。ご投稿をお待ちしています。

原稿文字数：600～800字程度

写真：執筆者顔写真 その他料理等の写真(掲載は白黒)も2枚程掲載できます。

原稿送付先：宮崎県医師会 広報委員会 宛 〒880-0023 宮崎市 和知川原1-101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

メール genko@miyazaki.med.or.jp

※原稿・写真とも出来ればファイルでいただければ幸いです。

※予めお店へ了承を得ていただきますようお願いいたします。

◎掲載については、広報委員会にご一任ください。



## メディアの目



## スポーツ愛好で健康増進

NHK宮崎放送局 放送部長

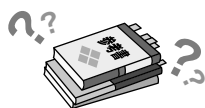
こあきおさむ  
濃 明 修

少し古い話になるが、去年の12月に青島太平洋マラソンに参加した。NHK宮崎放送局からはフルマラソンに12人が出場して、全員が完走した。沿道のボランティアや応援の温かさ、景色のすばらしさ、実にいい大会である。エントリーが40分で埋まるというもうなずける。

50代の自分は「若者には負けられない」とがんばった結果、4時間12分で、宮崎局参加者の中では1番だった。2番は40代後半の記者。NHKでは、40代以降にマラソンに目覚める人が多い。20代、30代にハードな仕事と不規則な生活で健康数値が悪化し、一念発起して始めたというのが動機の多くだ。自分も40代半ばにメタボリック症候群の判定が出て、このままではいけない！と東京時代にジョギングを始めた。フルマラソンは遠い存在だったが、宮崎局に赴任し、周囲に触発されて、青島太平洋マラソンで初フルマラソン。一歩踏み出せたのは宮崎県のスポーツ環境のすばらしさのおかげだ。マラソンに限らず、ゴルフ、サーフィン、登山、カヌー… 都会なら1日ばかりで時間もお金もかけないと楽しめないスポーツが年間を通して、気楽に楽しめる。これはすごいことである。さすが、「スポーツランドみやざき」を掲げるだけ

のことはある。

しかし、それとは裏腹に気になるデータがある。笹川スポーツ財団の「スポーツライフ・データ」(2010年～2016年)によると県民のスポーツ実施率(週1回以上)は56.48%で全国29位。恵まれたスポーツ環境を考えるともっと高くてもいい。また厚生労働省の「平成28年国民健康・栄養調査」によると肥満度を表すBMIは女性が23.8kg/m<sup>2</sup>で全国ワースト2位、男性が24.8kg/m<sup>2</sup>でワースト3位。さらに1日の歩数は女性が5,939歩でワースト4位、男性が7,022歩でワースト11位。これはどうしたことか？ 県民は、宮崎県がどれだけスポーツ環境に恵まれているか、いまひとつ自覚していないのではないか。近所の店に買い物に行くときも車を運転してはいないか。県外からスポーツ合宿や、レジャーで訪れる人ばかり運動をして、県民は「歩かない」「運動しない」では、「スポーツランド」の名が泣く。8年後には国体。施設整備や選手育成も大きな課題であるし、スポーツ大会や合宿の誘致も重要だが、県民自身の健康増進も大切なテーマだ。ゴルフでもウォーキングでも何でもいい。さまざまなスポーツが楽しめる宮崎県の恵まれた環境をいかして、健康増進につとめたい。



## あなたできますか？

—平成28年度 医師国家試験問題より—

(解答は27ページ)

1. 胸膜プラークについて正しいのはどれか。

- a 葉間胸膜に好発する。
- b 胸膜中皮腫の発生母地である。
- c 胸膜切除術が第一選択である。
- d 石綿曝露歴があったことを示す。
- e 飲酒が発症のリスクファクターとなる。

2. 母親の情報について母子健康手帳から得られる可能性が最も高いのはどれか。

- a 学 歴
- b 所 得
- c 職 歴
- d 婚姻歴
- e 喫煙状況

3. DNAR指示について正しいのはどれか。

- a 胃瘻中止の指示である。
- b 積極的安楽死の一種である。
- c リビングウィルの一種である。
- d 緩和的鎮静中止の指示である。
- e 心肺蘇生処置不要の指示である。

4. 乳び胸の治療はどれか。3つ選べ。

- a 胸管結紮術
- b 利尿薬の投与
- c 抗菌薬の投与
- d 胸腔ドレナージ
- e 絶食とし中心静脈栄養

5. 産業医について誤っているのはどれか。

- a 事業者が選任する。
- b 月1回の職場巡視を行う。
- c 業務上疾病の認定を行う。
- d 労働安全衛生法に要件が示されている。
- e 常時50人以上の事業所では選任が義務付けられている。

6. 大量吐血患者が救急車で搬入された。意識レベルはJCSI-2。体温36.5℃。心拍数120/分、整。血圧80/50mmHg。呼吸数22/分。SpO<sub>2</sub>100%（リザーバー付マスク6L/分 酸素投与下）。初期対応で投与すべき輸液はどれか。

|   | Na <sup>+</sup><br>(mEq/L) | K <sup>+</sup><br>(mEq/L) | Cl <sup>-</sup><br>(mEq/L) | ブドウ糖<br>(%) |
|---|----------------------------|---------------------------|----------------------------|-------------|
| a | 130                        | 4                         | 109                        | 0           |
| b | 90                         | 0                         | 70                         | 2.6         |
| c | 35                         | 20                        | 35                         | 4.3         |
| d | 30                         | 0                         | 20                         | 4.3         |
| e | 0                          | 0                         | 0                          | 5           |

7. 心理・精神機能検査のうち、直接患者に行わないのはどれか。

- a 津守・稲毛式発達検査
- b 田中・Binet式知能検査
- c 状態特性不安検査〈STAI〉
- d Minnesota多面人格検査〈MMPI〉
- e Mini-Mental State Examination 〈MMSE〉

8. 絞扼性イレウスの原因となりうるのはどれか。

- a 急性睪炎
- b 急性虫垂炎
- c 潰瘍性大腸炎
- d 鼠径ヘルニア
- e 下腸間膜動脈血栓症

9. ビタミンK欠乏症の患者において血液検査で低値となるのはどれか。

- a FDP
- b PT-INR
- c PIVKA-II
- d ヘパプラスチンテスト
- e APTT 〈活性化トロンボプラスチン時間〉

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 1 月～

平成30年 1 月 1 日～平成30年 1 月28日 (第 1 週～第 4 週)

### ■全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類：○結核17例(男性 9 例・女性 8 例)：保健所別報告数は【図 1】，病型別報告数は【表 1】，年齢別報告数は【表 2】のとおりである。

3 類：報告なし。

4 類：○A 型肝炎 4 例：いずれも宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代が 3 例，10歳代が 1 例で，主な症状として全身倦怠感，発熱，食欲不振，黄疸，肝機能異常がみられた。いずれも A 型肝炎のワクチン接種歴，海外渡航歴はない。

○つつが虫病 1 例：都城保健所管内から報告があった。60歳代で，主な症状として発熱，刺し口，発疹がみられた。

5 類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症 3 例：いずれも宮崎市保健所管内から報告があった。

・60歳代で，主な症状として中耳炎がみられた。原因菌は *Citrobacter koseri* である。

・80歳代で，術後の感染症である。原因菌は *Enterobacter cloacae* である。

・80歳代で，主な症状として肺炎がみられた。原因菌は *Enterobacter aerogenes* である。

○侵襲性肺炎球菌感染症 8 例：宮崎市 (5 例)，都城，延岡，小林 (各 1 例) 保健所管内から報告があった。年齢別報告数を【表 3】に示す。主な症状として頭痛，発熱，全身倦怠感，肺炎，菌血症等がみられた。肺炎球菌のワクチン接種歴は無しが 4 例，不明が 3 例，接種 1 回有りが 1 例である。

○播種性クリプトコックス症 1 例：都城保健所管内から報告があった。30歳代で，主な症状として頭痛，発熱，項部硬直がみられた。

○百日咳 4 例：宮崎市 (2 例)，延岡，日向 (各 1 例) 保健所管内から報告があった。いずれも10歳代で，主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，呼吸苦，嘔吐がみられた。

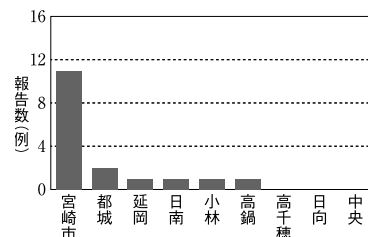


図 1 結核 保健所別報告数

表 1 結核 病型別報告数(例)

|                |   |
|----------------|---|
| 肺結核            | 9 |
| その他の結核(結核性胸膜炎) | 2 |
| 無症状病原体保有者      | 6 |

表 2 結核 年齢別報告数(例)

| 年齢    | 報告数 |
|-------|-----|
| 0～9 歳 | 1   |
| 10歳代  | 1   |
| 20歳代  | 2   |
| 30歳代  | 2   |
| 50歳代  | 1   |
| 60歳代  | 1   |
| 70歳代  | 1   |
| 80歳代  | 7   |
| 90歳代  | 1   |

表 3 侵襲性肺炎球菌感染症 年齢別報告数(例)

| 30歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 |
|------|------|------|------|------|
| 1    | 1    | 3    | 2    | 1    |

### ■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は15,810人(定点あたり 297.5)で，前月の169%，例年の126%と増加した。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎(ロタウイルス)で，減少した主な疾患は咽頭結膜熱と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎である。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ，手足口病及び感染性胃腸炎(ロタウイルス)である。

インフルエンザの報告数は13,775人(233.5)で前月の約2.6倍，例年の約1.6倍である。延岡(384.6)，都城

### ■病原体検出情報(微生物部)

|       | 検出病原体                                | 件  |
|-------|--------------------------------------|----|
| ウイルス  | A型肝炎ウイルス(遺伝子型 1A)                    | 2  |
|       | インフルエンザウイルスAH1pdm09                  | 12 |
|       | インフルエンザウイルスAH3                       | 5  |
|       | インフルエンザウイルスB (山形系統)                  | 10 |
|       | 単純ヘルペスウイルス 1 型                       | 1  |
|       | ヒトヘルペスウイルス 6                         | 1  |
| 細菌    | <i>Neisseria meningitidis</i> (髄膜炎菌) | 1  |
| 薬剤耐性菌 | <i>Citrobacter koseri</i> IMP-1 型(+) | 1  |

(291.0), 日向(242.3)保健所からの報告が多く, 年齢別では10歳未満が全体の約半数を占めている。

手足口病の報告数は72人(2.0)で前月の約0.7倍, 例年の約1.5倍である。宮崎市(4.2), 日南(3.7), 高鍋(2.3)保健所からの報告が多く, 年齢別では1～2歳が全体の約6割を占めている。

感染性胃腸炎(ロタウイルス)の報告数は5人(0.71)で前月の約5.0倍, 例年の約2.1倍である。延岡(3.0), 宮崎市, 日向(各1.0)保健所からの報告で, すべて5歳未満である。

## ■月報告対象疾患の発生動向 (2018年 1 月)

### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は25人(1.9)で, 前月比74%と減少した。また, 昨年1月(3.5)の56%である。

### 《疾患別》

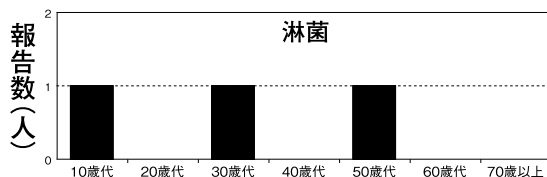
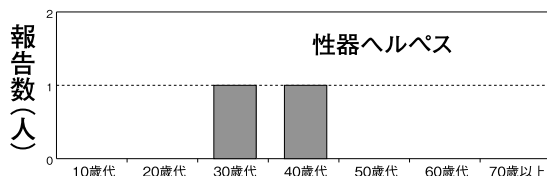
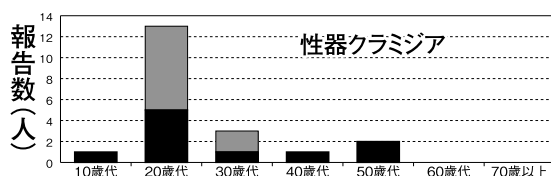
○性器クラミジア感染症：報告数20人(1.5)で, 前月の約1.1倍, 昨年1月の約0.8倍である。20歳代が全体の約7割を占めた。(男性10人・女性10人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数2人(0.15)で, 前月の約0.3倍, 昨年1月の約0.2倍である。

(女性2人)

○尖圭コンジローマ：報告なし。

○淋菌感染症：報告数3人(0.23)で, 前月の約0.6倍, 昨年1月の約0.4倍である。(男性3人)



■ 男 ■ 女

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は15人(2.1)で前月比115%と増加した。また昨年1月(2.0)の107%である。

### 《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数15人(2.1)で, 前月の約1.2倍, 昨年1月の約1.2倍である。60歳以上が全体の半数以上を占めている。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

### 前月との比較

|                | 2018年 1 月 |          | 2017年12月 |          | 例年との比較 |
|----------------|-----------|----------|----------|----------|--------|
|                | 報告数(人)    | 定点当たり(人) | 報告数(人)   | 定点当たり(人) |        |
| インフルエンザ        | 13,775    | 233.5    | 5,349    | 90.7     | ★      |
| RSウイルス感染症      | 131       | 3.6      | 161      | 4.5      |        |
| 咽頭結膜熱          | 83        | 2.3      | 256      | 7.1      |        |
| ※溶レン菌咽頭炎       | 185       | 5.1      | 334      | 9.3      |        |
| 感染性胃腸炎         | 1,280     | 35.6     | 1,505    | 41.8     |        |
| 水痘             | 53        | 1.5      | 74       | 2.1      |        |
| 手足口病           | 72        | 2.0      | 98       | 2.7      | ★      |
| 伝染性紅斑          | 4         | 0.1      | 0        | 0.0      |        |
| 突発性発しん         | 83        | 2.3      | 91       | 2.5      |        |
| ヘルパンギーナ        | 2         | 0.1      | 9        | 0.3      |        |
| 流行性耳下腺炎        | 87        | 2.4      | 118      | 3.3      |        |
| 急性出血性結膜炎       | 0         | 0.0      | 0        | 0.0      |        |
| 流行性角結膜炎        | 48        | 8.0      | 68       | 11.3     |        |
| 細菌性髄膜炎         | 0         | 0.0      | 0        | 0.0      |        |
| 無菌性髄膜炎         | 0         | 0.0      | 1        | 0.1      |        |
| マイコプラズマ肺炎      | 2         | 0.3      | 0        | 0.0      |        |
| クラミジア肺炎        | 0         | 0.0      | 0        | 0.0      |        |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 5         | 0.7      | 1        | 0.1      | ★      |

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## 各都市医師会だより

### 日向市東臼杵郡医師会

2月3日(土)の午後日向市消防署主催の集団災害救急救助訓練が日向市お倉ヶ浜総合運動公園において実施されました。

当日は日本列島にこの冬一番の寒波が襲来し季節風が吹きつける状況の中、145名(うち病医院職員90名)の方が参加されました。

今回は、医療関係者を中心に参加者を16グループに分け、トリアージをメインにした訓練が行われました。

訓練は3段階に分けて実施されました。第一段階は、救急隊がスタート法による模範トリアージを行い、その後参加者がブルーシート上に横になった16名の傷病者役をローテーションで5人をトリアージする方法で行われました。

第2段階では救急隊がパット方式による模範トリアージを実施した後、重症の傷病者役の人を同方式でトリアージする形で行われました。いずれのトリアージでも、グループ内で交替し、効率的な訓練が行われていました。

第3段階では、消防本部が作成した5名の被災者状況を記録したペーパーをもとに、搬送順位と搬送先をグループで検討し、発表する形で実施されました。大規模災害での傷病者の搬送順位の決定の難しさを実感されていたようです。

これまでの訓練では、1次・2次トリアージ後、救急車、搬送協力車により救急医療機関等へ搬送するという内容で行われていましたが、今回はトリアージに特化した訓練で目標もはっきりしていたため、はじめて訓練に参加された方にとっては有意義な訓練だったと思います。

大規模災害は、いつ、どこで発生するかわかりません。日頃から災害が発生した際の緊急対応力を訓練で養っておくことが大事だと思いました。

(渡邊 康久)

### 宮崎市郡医師会

1月28日の宮崎市長選挙では二人の医師会員が立候補し三つ巴の選挙戦となった。昨年5月31日の宮崎市郡医師連盟執行委員会で、8年間の実績や堅実な市政運営を高く評価し現職戸敷正氏の推薦を決定した。二人から選挙対策委員会直前に推薦願いが提出され臨時医師連盟執行委員会を開催し、改めて現職のみを推薦と決定し選挙対策委員会でも賛成多数で可決。戸敷氏が期待通り見事に三選を果たした。今後とも、戸敷正市長と率直な意見交換をしつつ宮崎市の医療・福祉提供体制の整備を進めていく予定である。

(山村 善教)

### 都城市北諸県郡医師会

当医師会では、在宅医療従事者の研修事業などを行う都城地区在宅医療推進協議会を設置しています。そこでは行政とともに「都城市、三股町医療介護連携推進協議会」を立ち上げ、部会を通して様々な活動を行っています。先進的な他地域に見習いルール、ツール、リスト作成や看取りに關しての多職種連携、組織体制作り、講演会の開催です。更に地区別に事例対応、情報共有なども行っています。多職種連携が重要であるため、都城地区では当医師会の訪問看護ステーションも精力的に頑張っています。

(木村 健)

## 延岡市医師会

今年もインフルエンザが猛威を振るい、延岡地区は感染率日本一となりました。さらにマスクミが「隠れインフルエンザ」などと喧伝したために、症状も発熱もないうちから患者さんが押し寄せました。

インフルエンザ治療は「むやみに出歩かず、自宅で安静」が基本でしょう。しかし、学校や職場はインフルエンザという「診断名」を求めるため、検査陽性が出るまで何度も受診してくる患者さんがいます。「調子が悪いときは気兼ねなく休める」という社会を作ることこそが「働き方改革」だと思います。

こんな中でも、私も職員も一人も感染しませんでした。巷では「医者への感染率は低い」とも言われますが、エビデンスはあるのでしょうか？

(榎本 雄介)

## 児湯医師会

昨年12月25日第5回西都児湯二次医療圏における地域医療構想会議が行われた。西都市西児湯会長である松本先生、児湯会長の永友先生、行政責任者の出席のもと西都児湯地区の各基幹病院の現状と将来構想、在宅医への取組みと支援について協議が行われた。当医療圏でも急速な高齢化を踏まえ在宅医療へのシフトの必要性、病床再編、行政や他業種との密な連携強化、そして慢性化している看護師介護職員の不足とその改善策について活発な意見交換が行われた。

(山口政一朗)

## 西都市西児湯医師会

平成28年4月に、運営形態が変わり、西都市が設立者となった地方独立行政法人西都児湯医療センターであるが、その後も順調で先生方、スタッフも頑張っておられるようである。昨年12月からは、脳神経外科医が常勤2名態勢に

なった(内科は3名)。

現在、平昌オリンピック開催中(本日はアルペン競技他)。抜群の能力・集中力を持って競技に挑んでいる選手達。国によって変化のあるカラフルなスキーウェアは巧みなデザインである。

(水田 能久)

## 南那珂医師会

南那珂地区の夜間急病センターには平日小児科医がいません。医師会員の先生方が内科も小児科も診ています。数年前に、急病センターで小児も診ることになった時は不安でいっぱいでした。開始前に、県立日南病院の小児科医より小児診療講演会が開催され、必死にノートをとった覚えがあります。

つい先日にも3回目の講演会が開催され、小児の診方から帰宅時の親への模範的説明など、得るものが多かったです。

今後は、在宅当番医の時も小児を診ることになり、全ての調剤薬局に小児の薬品を置くことになりました。

(山元美智子)

## 西諸医師会

西諸地域では2017年8月より分娩ができなくなりました。

この事実は宮崎県内のテレビや新聞はもちろん、全国の報道機関でも報道されました。私もニュースを見た県外の親戚から心配する電話をもらい、改めてその反響の大きさに驚かされました。

この事態の解決に向けて、宮崎大学医学部産婦人科学教室、西諸医師会、小林市、小林市立病院および関係諸機関の皆様のご尽力をいただき、当面は小林市立病院の産婦人科での妊婦検診を再開し、2018年7月からは分娩が再開される予定となっているようです。

(井尻 裕司)

## 国公立病院だより

### 県立日南病院



みね かずひこ  
峯 一彦 病院長

県立日南病院のある日南市は、商業の中心飢肥町と港町油津町とを中心とした合併で昭和25年に誕生しました。現在は、広島東洋カープと西武ライオンズのキャンプ地として全国的に有名で、最近では外国の観光船が頻繁に入港して賑わいをみせています。今後、高速道路の開通で宮崎市へのアクセスも良くなると思われます。

県立日南病院は、昭和23年9月1日開設以来、県南の人々と地元南那珂医師会の先生方に支えられてきました。

今回、県医師会の先生方に当院の歴史、現況、今後の取組みなどを紹介させていただきます。

#### 沿革

- 昭和23年 9 月 南那珂郡油津町に「県立油津病院」を開設
- 昭和25年 1 月 日南市の発足で「県立日南病院」に改称
- 昭和26年 7 月 日南市木山に移転
- 昭和52年10月 2次救急医療施設に指定
- 平成 9 年 3 月 災害拠点病院に指定
- 平成10年 2 月 新病院へ移転
- 平成11年 4 月 第二種感染症指定病院に指定
- 平成15年 8 月 地域がん診療連携拠点病院に指定
- 平成16年 4 月 (財)日本医療機能評価機構の認定(一般病院B)
- 平成17年 9 月 管理型臨床研修病院に指定
- 平成18年 5 月 電子カルテシステム稼働
- 平成18年10月 6階西病棟休床



- 平成20年 4 月 地域周産期母子医療センター認定
- 平成21年 4 月 (財)日本医療機能評価機構の更新認定
- 平成21年 7 月 DPC対象病院として包括払請求を開始
- 平成23年 3 月 宮崎県がん診療指定病院に指定
- 平成25年 4 月 宮崎大学地域総合医育成サテライトセンターの設置
- 平成26年 4 月 (公財)日本医療機能評価機構の更新認定
- 平成27年 8 月 地域包括ケア病棟の設置

#### 基本理念

1. 患者本位の病院
2. 高度で良質な医療を目指す病院
3. 地域社会に貢献する病院

私が平成6年10月に宮崎医科大学第二外科から外科医長として赴任して参りましたとき、すべての診療科医師が宮崎医科大学からの派遣となりました。その当時は、老朽化した建物でしたが、平成10年に現在の小高い丘に新病院として建て替え移転となりました。新病院に対する地元住民の期待は高く、全職員が協力してその期待に応えるべく努力してきました。

現在は日南串間医療圏の中核病院として、高度・急性期医療や救急医療、災害医療などを提供する役割を担っています。稼働病床数は281

床(許可病床数は334床)で20診療科を有しており、圏域では放射線治療を含めた集学的がん治療ができ、脳卒中や心筋梗塞などの急性期医療ができる唯一の医療機関であります。また、臨床研修制度の下、研修医の育成指導を行っております。

一方で、経営の健全化も求められ経営改善には努力してまいりました。近年では、7対1看護体制の維持、地域包括ケア病棟の運営、HCUの運営などを行っていますが、容易ではありません。医療費抑制政策、診療報酬改定、医師不足などの影響以外にも、当医療圏ではこの20年間で約2万人の人口減少がみられるという課題があります。今後経営状況を悪化させないためには、かかりつけ医との連携をさらに密にしていく必要があります、医療連携科の役割がますます重要になってくると思われます。そのような中、昨年当院医師と南那珂医師会の先生方との懇親会を開催しました。顔の見える関係になってこそその信頼関係の構築であり、評判もよく今後も継続したいと考えています。

診療面では、各診療科が専門性を高めながら、他科との連携を行っています。医局は一部を除き開放型で、医局内で患者コンサルトが行われることもしばしばあります。多診療科合同、あるいは多職種合同のカンファレンスや、他の医療機関スタッフ合同の勉強会なども行われています。

現在多くの医療施設で医師不足が叫ばれていますが、当院も例外ではなく、宮崎大学に引き続き医師派遣をお願いしているところです。医師不足は医師の疲弊と診療報酬の減少に直結します。そのような中、臨床研修医の存在は大きく、平成29年度は基幹型研修病院として7名、協力型研修病院として7名を受け入れています。常勤医不足の中、病院としてはありがたい戦力となっております。

昨今、医療従事者、特に医師の働き方改革が問題となっています。当院でも、医師事務作業補助者を置くなどして、医師の負担を減らそう

としていますが限界があります。県南地区の市民の間には、「県病院に行けば、何時でも診てくれる」という風潮が根強いようで、これも医師の負担の一つとなっています。時間内であれば、紹介状を持参していただくこと、時間外は電話連絡をしていただくよう周知しているところです。このような中、残念ながら労働基準監督署より医師の時間外労働、宿直体制については是正勧告を受けました。現在の診療体制を維持したままで稼働させた場合、救急医療を含めた大幅な診療縮小をせざるを得ません。医師数が増えれば解決することでしょうが、今後医師数の大幅な増加が望めなければ、病院の診療体制を考えなければなりません。現在、南那珂医師会の先生方にも協力をしていただきながら、地域医療支援病院の承認を受けるべく作業を進めているところです。地域医療支援病院の承認がなされたら、紹介状のない患者さんの外来診療を削減し、その分の労力を入院診療にシフトすれば、医師の負担軽減に繋がるのではないかと考えます。また、医療技術の進歩・患者疾患の複雑化によって看護師の仕事量も増えています。その仕事量に見合うだけの看護師数が足りなければ、そのしわ寄せは医師にも廻ってきます。現在試行的に病棟単位で、二交代制勤務を行っていますが、評判は良いようです。将来、看護師の数が増えれば二交代制勤務が良いと考えます。

今後も、県立日南病院は県南地区の中核病院として、安全で質の高い医療を提供し愛されなければなりません。これを継続するためには、住民の方々と医師会の先生方のご理解・ご協力がなければできません。また、宮崎大学には、引き続き医師の派遣を継続していただきたいと思います。病児病後児保育も含めた院内保育施設もありますので、女性医師も安心して勤務できるのではないのでしょうか。

どうぞこれからも県立日南病院をよろしくお願いいたします。

## 宮崎大学医学部だより

### 宮崎大学 附属図書館医学分館



かもと としゆき  
賀本 敏行 分館長

#### 1. 概要

宮崎大学附属図書館医学分館は、県内最大規模の医学図書館として、医学図書や医学雑誌を中心に、電子リソースの充実も図っております。12万冊の図書、4千タイトルの雑誌、さらに6千タイトル以上の電子ジャーナル、論文検索のためのSCOPUS, MEDLINE Complete, CINAHL, 医中誌webといったデータベース、さらに臨床意思決定支援ツールとしてUpToDateも導入しております。

また、宮崎大学学術情報リポジトリを通じ、本学の教育研究成果を公開するなど、情報の発信にも携わっています。

#### 2. 図書館の開放

一般市民の皆様や、医師会の先生方も当館所蔵の医学情報を利用することができます。

ご来館での利用の場合、所蔵資料の閲覧・複写ができます。わからないことがあれば、お気軽にカウンターにおたずねください。貸出については、図書を5冊まで借りることができます。貸出期間は1週間です。貸出を希望される場合は、運転免許証等の身分証明書をご持参ください。

遠隔地の方は、県内の公共図書館や所属の病院図書館等を通じて、図書の貸出や資料の複写が可能です(送料や複写料金等の実費が必要です)。

当館の開館時間は、以下のとおりです。詳しくは図書館のホームページをご覧ください。

#### 開館時間

|     | 平日         | 土・日曜日       | 祝・休日 |
|-----|------------|-------------|------|
| 授業期 | 9:00~20:00 | 13:15~17:00 | 休館   |
| 休業期 | 9:00~17:00 | 休館          | 休館   |

#### 3. 学修支援の向上

上記のとおり、医学図書や医学雑誌及び電子リソースの充実を図っており、学生がそれらの情報を利用する能力を高められるよう情報検索ガイダンスを実施しております。

学修支援の一環として学習環境の整備に努めており、平成24年に館内にラーニングコモンズを設置しました。このスペースは複数の学生が集まって、様々な媒体の情報を生きた能動的な学修ができる場として、1階のコモンズエリアと個別の学修室であるセミナー室、グループ学修室、多目的室より構成されております。

もちろん、従来どおり、学生が個人で学習に集中できる環境を整備しております。

また、利用者の皆様により良い学習環境を提供するために、平成30年度から31年度にかけて図書館と福利棟の一部を改修し、ラーニングコモンズ及び個人学習スペースの拡充を行う予定です。

#### 4. おわりに

地域の先生方にも当館の医学情報をご活用いただき、医療活動にお役立ていただければ幸いです。ご意見・お問い合わせがありましたら、お気軽に下記にご連絡ください。

宮崎大学附属図書館医学分館

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200

TEL : 0985-85-9198 FAX : 0985-84-1756

E-mail : lib-med2@of.miyazaki-u.ac.jp

HP : <http://www.lib.miyazaki-u.ac.jp/igaku/>

(森 勝彦, 賀本 敏行)



## 専 門 分 科 医 会 だ よ り

## (放射線科医会)



ひらい 俊範 会長

2018年4月の新専門医制度スタートに向け、昨年10月から専門医登録が開始され、宮崎大学各科への入局者もほぼ固まっているのではないのでしょうか。毎年、毎年新入医局員

の勧誘に追われてきたが、これを機にそんなことをしなくても一定の数の放射線科志望者が集まってくれたらと密かに願っている。

そもそも新専門医制度ができた理由は、各専門医を育てる学会のためではなく、患者と若手医師のためである。患者には、標準的で信頼できる治療を受けたい、医療の地域間格差を小さくしてほしいという要望があり、若手医師には、自信を持って医療を担当できる一人前の医師になりたい、充実した研修を受けたいという願いがある。従来制度では、各学会が主導で専門医を輩出してきたため、多種多様な専門医が乱立し分かりにくくなり、また、各学会が独自に制度を構築したため基準が統一されておらず、質のバラツキがみられることが問題点であった。そのほか自由標榜制のもと、専門医を養成する後期研修の仕組みがないのは、先進国では日本だけである。国民や若手医師の目からすると、これらの要望や問題点を是正する新専門医制度は当然の流れにみえる。このように日本専門医機構による統一した資格になるということは制度的に一步前進であるが、解決すべき問題

も山積のようである。ただ、放射線科の専門医制度は歴史があり、内科や外科に比べると比較的すっきりしている。問題はこの専門医制度が本年4月以降どのように運用されていくかであろう。

最近の前期研修医を見ていると総合診療医、プライマリケア医への関心が高いようだ。高齢化社会に向けてニーズが高いことからすると、この動きにも納得がいく。一方で、今後どれだけの人が放射線科専門医を目指してくれるのだろうかと考えると不安を感じざるを得ない。多くの研修医は画像診断の重要性は理解しているようだが、画像のレポートをもらいさえすれば事足りるようで、丁度、我々にとって病理診断の結果を受け取るのと同じような感覚のようだ。ローテートしてきた研修医には“画像診断ってもっと奥が深いんだよ”とマンツーマンでできるだけ伝えるようにしているが、なかなか分かってもらえないのが現状である。

現在、我が国の画像の検査数自体は少し過剰気味で、今後いろいろな形で抑制がかかってくると思われる。また欧米のように専門医の数にもレギュレーションがかかることも予想される。若い医師が大都市に集中することも問題だ。国民にとって適切な診療が行われるには、地方の基幹病院には一定数の放射線科医が必要であることは言うまでもない。今後、各地方にどれぐらいの専門医が必要なのか、議論されることになるだろう。

## 九州医師会連合会第368回常任委員会

と き 平成30年1月27日(土)

ところ ANAクラウンプラザホテル沖縄

### 1 開 会

### 2 九州医師会連合会長挨拶

福岡県医師会長 松田 峻一良

### 3 報 告

#### 1) 第117回九州医師会連合会総会及び医学 会関連行事について(福岡)

##### (1)参加者数について

平成29年10月28日から29日にかけて延べ  
3,716名の参加があった旨報告された。

##### (2)宣言・決議の取り扱いについて

安倍内閣総理大臣ほか316名に対して宣  
言・決議文を送付した旨の報告があった。

#### 2) 九州厚生局への要望書提出について(福岡)

今年1月15日に九医連会長の福岡県松田  
会長が須田九州厚生局長に直接面会し、適  
時調査及び個別指導の主な指摘事項を九州  
厚生局ホームページ上に公開するよう要望  
を行ったとの報告があった。

#### 3) 日本医師会創立70周年記念式典・医学大 会における各種表彰者に対する慶祝について (福岡)

#### 4) 秋の叙勲等受賞者に対する慶祝について (福岡)

#### 5) その他

### 4 協 議

#### 1) 第141回日本医師会臨時代議員会及び九 州ブロック日医代議員連絡会議(3月25日 (日)日医)の開催について(福岡)

3月25日午前9時から日医九州ブロック  
控室にて連絡会議を開催することが了承さ  
れた。併せて、日医臨時代議員会での九州  
ブロックからの代表、個人質問を各県2月



20日までに九医連事務局に報告するよう依  
頼がなされた。

九州ブロックからの代表、個人質問者の  
決定は、3月3日開催予定の九医連常任委  
員会で協議することが了承された。

#### 2) 九州医師会連合会第370回常任委員会 (4月7日(土)福岡市)の開催について(福岡)

4月7日18時からホテルオークラ福岡で  
第370回常任委員会を開催することが了承  
された。

#### 3) 日本医師会選挙管理委員会委員及び予備 選挙管理委員の選出について(福岡)

現在の委員の任期が今年3月31日までと  
なっていることから、次期委員候補を九医  
連覚書に従い鹿児島、佐賀両県から各1名  
ずつ2月26日までに選出報告することが了  
承された。

#### 4) 九州医師会連合会第13回事務局長連絡協 議会(4月13日(金)福岡市)の開催について(福岡)

4月13日16時から福岡県医師会館で事務  
局長連絡会議を開催することが了承された。

#### 5) その他

出席者－河野会長、山内事務局長

## 平成29年度日本医師会女性医師支援センター事業 九州ブロック会議

と き 平成29年12月16日(土)

ところ レンブラントホテル大分



平成29年度日本医師会女性医師支援センター事業九州ブロック会議が12月16日、レンブラントホテル大分で開催された。開会にあたり、大分県医師会近藤稔会長、日本医師会今村定臣常任理事からそれぞれ挨拶があり、次第に沿って報告、協議が行われた。

### 報告・協議事項

#### (1)日本医師会女性医師支援センター事業について

今村(定)日医常任理事より報告があった。要旨は以下の通り。

##### ①女性医師バンクの運用状況について(平成29年11月末現在)

求職登録者数：91名(累計912名)

求人登録施設数：28施設(累計3,844施設)

就業実績(成立数)：93件(累計632件)

昨年10月からの体制変更や広報活動、都道府県との連携強化が就業実績増加に結びついている。

##### ②女性医師バンクの広報活動状況について

従来の広報活動に加え、チラシの作成・配

布や医療系雑誌等へ記事掲載を行い、女性医師支援の必要性について訴求した他、8月に新規開設したFacebook (SNS)を活用する等、様々な角度から支援を必要とする子育て世代に向けた情報発信を行っている。

##### ③都道府県医師会との連携について

女性医師バンクホームページ内に都道府県医師会専用ページを開設した。

その他、都道府県との共催事業について、「医学生、研修医等をサポートするための会」は64件、「地域における女性医師支援懇談会」は41件の申請があった。

#### (2)女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告について

平成29年2月～3月に病院に勤務する女性医師を対象に実施された「女性医師の勤務環境の現況に関する調査」の結果(有効回答数・率：10,373人・25%)について、日本医師会男女共同参画委員会鹿島直子副委員長より報告があった。要旨は以下の通り。

職場の男女共同参画や育児支援への意識は高まっている一方、家庭内では、まだ女性の負担が大きい。出産、育児のみならず、医師業務との両立、キャリア形成のための支援も重要である。今回は病院勤務医のみを対象としたが、今後、多様な働き方をしている女性医師の状況も把握し、幅広い選択肢を持つ支援策の展開が望まれる。

### (3)各県における女性医師支援のトピックス等について

女性医師支援の取組みについて、各県よりそれぞれ報告があった。

#### ①長崎県

長崎大学と協働で実施した県内女性医師の勤務状況調査によると、女性医師が勤務する病院は偏在しており、特に、子育て中の女性医師の95%が、長崎、県央(大村・諫早)、佐世保の3医療圏に集中していることが分かった。現在、長崎市で行っている保育サポートの支援地域を、大村・諫早地区へ拡大するため、サポーター募集を開始した。

#### ②熊本県

熊本県女性医師キャリアセンターの復職支援として、新たに「お留守番医師制度」を開始した。医師が訪問診療等で留守にする間の外来業務を担うもので、在宅医療の推進と復職希望医師のキャリア支援を同時に叶えるシステムである。現在2名がこの制度で復職している。

#### ③福岡県

6月に、女性医師確保対策検討委員会を改組し、女性医師キャリア形成支援検討委員会を設置した。同委員会が7月に県内の病院及び有床診療所計1,012か所を対象に実施した「女性医師の支援に関するアンケート」の結果(回答数・率:370か所・36.6%)から、当直免除は63.2%、時間外免除は65.2%、短時間勤務は56%の施設で導入されていないことが

分かった。女性医師等就労環境改善事業の補助要件見直し等により、働きやすい職場環境の整備が必要である。

#### ④鹿児島県

医師会における女性医師支援活動のひとつに、院内保育園・病児保育施設の訪問がある。これまで15か所程訪問し、院内施設の運営には、熱い思いを持つキーパーソンがいること、経営者や上司の理解があることが成功のカギであると感じた。訪問記を会報に掲載し、今後どのように発展させていくべきかを提言する誌面としている。

#### ⑤佐賀県

医師会と佐賀大学が連携し、卒業後の働き方について先輩医師が講演を行うキャリアセミナーを開始した。100名を超える参加があり、終了後のアンケートからは、子どもができてからの自身やパートナーの働き方について、意識の変化がみられた。また、今後話を聞きたい医師として、子どものいる外科医、地域医療医、教授、留学経験のある医師があった。次回のセミナーにつなげたい。

#### ⑥宮崎県

次世代を担う学生へのアプローチとして、県、医師会、大学が一丸となり、医学生や中高生およびその保護者、それぞれを対象としたフォーラムを開催した。地域医療の現状、医学部の紹介、合格のコツ、医師・医学生の講演を行い、医師として働く具体的なイメージや意欲を持ってもらうことができた。

保育支援サービスの全体顔合会では、医学生に子どもの遊び相手をお願いしている。子育て中の先輩医師の姿をみて、自身の将来を考えるとともに、県の支援体制も知ってもらう良い機会になっている。

#### ⑦沖縄県

今年11回目を迎える女性医師フォーラムでは、「この10年を振り返る～私たちの働き方は

変わったか～」をテーマに、女性医師部会の歩みや、平成24年度に県内5病院の勤務医を対象に実施した勤務状況に関するアンケート調査を再度実施し、5年間の変化を報告した後、次の10年に向けて討論を行った。多忙な科とそうでない科、支援を受ける人と負担する人との不公平感等が課題としてあげられた。女性医師のみではなく、ワークライフバランスを含めた医師全体の働き方を考える必要がある。

#### ⑧大分県

昨年、県内医療施設を対象に「再就職支援に関するアンケート」を行い、再就職支援プログラムに協力的な回答であった194施設に、勤務条件等を問う再調査(回答数・率：96施設・49%)を行い、最終的に69施設150診療科に協力いただけることになった。この結果をもとに、行政や大学医学部長および各診療科教授、公立病院長に協力を依頼し、了承を得た。医師会を通して県内どこでも支援が受けられる体制を目指して、行政とも連携し、医師会主導で窓口やネットワーク基盤を構築していく。

#### (4)ディスカッション・情報交換

##### ①新専門医制度開始にあたっての産後・育児

休暇後復職のための取組み、②病児保育の実情について意見交換を行った。

女性医師から子育て支援として最も要望があるのが病児保育施設である。施設数は増加しているが、女性医師も増えているため、まだまだ不足しており、地域によっても差がある。また、医師の働き方に対応した柔軟なサービスも求められている。日医としても、引き続き、国へ病児保育施設拡充のための施策を要望していく。

#### (5)女性医師支援事業連絡協議会における報告について

日本医師会で開催される「平成29年度女性医師支援事業連絡協議会」における九州ブロックからの報告は、担当県である大分県が行うことが承認された。

#### (6)次年度の開催県について

次年度の当会議は、長崎県が担当県となり開催することが承認された。

最後に、沖縄県医師会田代幹雄常任理事の挨拶をもって閉会した。

出席者－荒木常任理事、糸数理事、畠中主事

あなたできますか？（解答）

|   |   |   |         |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---------|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4       | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| d | e | e | a, d, e | c | a | a | d | d |

## 日医インターネットニュースから

### ■「オンライン診療」G L策定へ — 厚労省検討会初会合 —

厚生労働省は2月8日に「情報通信機器を用いた診療に関するガイドライン(G L)作成検討会」の初会合を開き、年度内のG L策定へ議論を開始した。いわゆる遠隔診療の名称を「オンライン診療」にすることで合意。G Lの対象範囲は「医師对患者で行われる外来・在宅診療」とする。保険診療、自由診療は問わない。厚労省は次回会合でG L案を示す。座長には山本隆一構成員(医療情報システム開発センター理事長)が決まった。

厚労省は遠隔診療の基本的な考え方を示す通知を1997年に出し、改正もしている。2015年には同通知の内容を解説する解釈通知も出しているが、ルールを示すG Lの策定は初めて。G Lは、4月の診療報酬改定で新設予定の「オンライン診療料」の算定要件にも関係する見込みだ。G Lに法的拘束力はないが、守らなければ行政指導は可能となる。

会合では、厚労省研究班が実施した「情報通信機器を用いた診療に関するルール整備に向けた研究」の概要が報告された。名前を「オンライン診療」にすることや、オンライン診療と、G Lの対象にならない「遠隔医療相談」の線引きをすることを提案。情報セキュリティの観点を含めた医師教育や、オンライン診療の限界などに関する患者教育の必要性も指摘した。

研究結果を踏まえ、厚労省は▽遠隔診療の定義と名称▽基本理念と倫理指針▽G Lの項目—の3つの論点を提示。名称については、「遠隔診療」は距離が著しく隔離した状況をイメージさせるなどの理由で「オンライン診療」とすることが決まった。

G Lの対象は「医師对患者」とする。基本理念と倫理指針は、G Lの一部として盛り込み、守秘義務の問題や、医師の希望ではなく患者の求めに基づいてオンライン診療を提供することの徹底などを盛り込む方針を示した。

G Lの項目は、患者との関係性や、診療計画、薬剤処方・管理などを盛り込む「適用の基準」、オンライン診療の提供場所やプラットフォーム

(端末)などを記載する「提供体制」、医師・患者教育やエビデンスの蓄積などが該当する「その他」に3分類する。

#### ●初診の対面原則は維持

議論では「初診の対面原則」についても意見が交わされた。厚労省は過去の通知で、初診の患者は対面診療が原則だが、例外はあり得ることを示している。構成員の多くが、離島をはじめ地域性の問題などで例外はあっても「初診は、原則的に対面診療にすべき」と発言。日医の今村聡副会長も「通知の解釈だろうが、現時点では、初診が原則として対面なのは非常に大事な点だと思っている」と述べた。

会合後、医政局の担当者は「G L策定に向け、初診の原則に関する通知をより具体化する必要はあろうが、今日の議論を踏まえれば内容は変わらないだろう」と答えた。(平成30年2月16日)

### ■新高齢社会対策大綱を閣議決定 — 「エイジレス社会を目指す」 —

政府は2月16日、新たな「高齢社会対策大綱」を閣議決定した。65歳以上を一律に高齢者と捉えることを「現実的なことではなくなりつつある」とし、基本的な考え方で「全ての年代の人々が希望に応じて意欲・能力を生かして活躍できるエイジレス社会を目指す」ことを打ち出した。

基本的な考え方は3本柱。エイジレス社会に加えて、多世代間の協力拡大や社会的孤立の防止に向けた地域コミュニティの整備、高齢期の能力発揮を支援する技術革新を志向することを明記した。

健康・福祉分野では、健康寿命の延伸に向けた取り組みや地域包括ケアシステムの深化・推進、介護職員の処遇改善を盛り込んだほか、認知症高齢者支援施策の推進、人生の最終段階における医療の在り方にも言及した。また、研究開発・国際社会への貢献等分野では、先進技術の活用や高齢者向け市場の活性化に向け、高齢者特有の疾患についてのゲノム科学など先端技術を活用した研究、介護ロボットやICTの活用に関する研究開発を推進するとした。

数値目標にも、新たな項目を複数追加した。

健康寿命(2013年＝男性71.19歳，女性74.21歳)は20年までに1歳以上，25年までに2歳以上延伸するとした。(平成30年2月20日)

## ■「認知度向上」が課題，名称問題も — 医療事故調・運営委 —

日本医療安全調査機構は2月15日に「医療事故調査・支援事業運営委員会」を開き，医療事故調査制度の現況について議論した。制度開始から3年目に入ったが，医療関係者や国民の認知度の低さが課題に浮かんた。「医療事故調査制度」という名前が誤解を招き，報告に二の足を踏ませるため，別の通称を付けるべきという意見も出た。

同機構は会合に，医療事故調査制度についてまとめた2017年の年報の要約版を案として示した。17年9月末までのデータで集計したもので，医療事故発生の報告件数が毎月30件程度と横ばいで推移していることや，発生報告の数や院内調査結果を出すまでのスピードに地域差があることなどが，あらためて示された。

議論では，山口育子委員(NPO法人ささえあい医療人権センターCOMLL理事長)が「名称の中に『事故』という言葉があることで，どうしても過誤を疑われることを病院が疑って報告しない傾向があると耳にする」と述べ「たとえば，『予期せぬ死亡調査制度』などの通称をつけてほしい」と提案した。

同機構は，医療事故調査制度をより円滑に運用するため，院内調査結果を報告した医療機関と遺族に対するアンケート調査を行う方針も示した。(平成30年2月20日)

## ■高齢者の医薬品適正使用，指針案を了承 — 厚労省WG —

高齢者医薬品適正使用ガイドライン作成ワーキンググループは2月21日，「高齢者の医薬品適正使用の指針(総論編)」案を大筋で了承した。

指針案は，薬物有害事象の回避や服薬アドヒアランスを改善させるための基本的な留意事項をまとめたもので，医師や歯科医師，薬剤師を主な対象に，看護師や他職種の利用も想定した。同日の会合での指摘を踏まえて若干の修正を加え，3月9日に開く親検討会に報告する。パブリックコメント募集後，4月にも通知を出す見通し。

指針ではまず，ポリファーマシーの概念について「多剤服用の中でも害をなすもの」と定義し，多剤服用と使い分けた。ポリファーマシーは複数の医療機関の受診で起こるため，かかりつけ医が薬剤の処方状況全体を把握することや，薬局を一元化することにより解消が期待されるとした。

処方の見直しは外来受診時や入院時，施設入所時などのほか，新たな急性疾患を発症した状況で可能になると解説。基本的な考え方として，高齢者の総合機能評価を用いて認知機能や日常生活動作(ADL)，生活環境などを評価し，臓器障害や機能障害，服用管理能力の把握につなげ，その過程で服薬状況を確認することが必要だとした。

### ●処方見直し，フローチャートで解説

処方見直しのプロセスはフローチャートで提示した。また，高齢者は薬物有害事象が老年症候群として表れることが多いと指摘したほか，有害事象の早期発見には他職種からの情報が有用だとし，地域内における他職種との協働の重要性にも言及した。

同日の会合では，「高齢者で汎用される薬剤」に関する添付資料の薬剤名の表記に関する意見のほか，処方医の「かかりつけ医」への書き換え，地域包括ケアシステムに関する記載などを求める声が上がった。

WGは今後も継続して議論を進め，2018年度中に指針の詳細編を作成する。疾患領域別か療養環境別にまとめる方針で，必要な調査なども実施した上で，秋以降に具体的な案を整理する。(平成30年2月23日)

日医インターネットニュースは，日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID：会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字(半角)

## 勤務医・研修医の先生へお知らせ ～春の異動シーズンに備えて～

春の異動シーズンが近づいて来ました。会員の先生で、勤務先が変わる、初期研修を終えて新たに勤務医としてスタートする(=会員区分が変わります)、住所が変わるなどの予定がある場合は、医師会員の「異動の届出」が必要です。

所属の郡市医師会が変わる場合は手続きが少し複雑になりますので、簡素化を図るため宮崎県医師会が手続きのサポートをいたします。サポート受付窓口までお気軽にご連絡ください。

サポート受付窓口 TEL 0985-22-5118 (総務課)



届出用紙は 4枚 複写



本人(控)



郡市医師会用



県医師会用



日本医師会用

医師会は三層構造になっているため、上記のように3つの医師会に所属することになります。

## 平成30年4月から勤務医会員の日本医師会費 (日医医賠償保険料)が引き下げられます!

| 会員区分 | 医賠償保険 | H30 年度以降の年会費                          |
|------|-------|---------------------------------------|
| B    | 非加入   | 28,000 円<br>(月額約 2,300 円)             |
| A2   | 加入    | 年齢 30 歳以下<br>39,000 円<br>(月額 3,250 円) |
|      |       | 年齢 30 歳超<br>68,000 円<br>(月額約 5,600 円) |

30 歳以下の方は  
43,000 円,  
30 歳超の方は  
14,000 円の  
引下げです!

※毎年4月1日現在の年齢が基準となります。

会費に関する窓口 TEL 0985-22-5118 (経理課)

## 医師会員のメリット

### 1 医師資格証(担当：総務課)

医師資格証(ICカード)で、医師免許証の原本(B4サイズ)と同様に、医師の資格確認ができます。医師資格証があれば、新たに医療機関に勤務される場合や勤務先が変わる際、大変便利です。

会員は、発行手数料・年間利用料が無料です。(ただし、5年経過後の更新時には発行手数料が必要)

※非会員の先生は、発行手数料：5,000円、年間利用料：6,000円



### 2 日本医師会医師賠償責任保険制度(担当：総務課)

医師賠償責任保険制度は、万一医療事故が発生し、紛争にまで発展した場合、各郡市医師会及び県医師会において相談に応じ、解決を図るシステムです。

### 3 日本医師会医師年金(担当：経理課)

医師年金は、会員のための終身年金です。64歳6か月未満であればいつでも加入でき、掛け金の増減も自由にできます。

予定利率1.5% (H29年度)、手数料は保険料の0.25%と少額で、効率的に資産運用されています。

### 4 グループ保険(担当：医師協同組合・経理課)

会員ご本人と配偶者まで加入できる団体定期保険です。

特長は、スケールメリットを生かした割安な保険料です。最大4,000万円と大きな保障が得られることに加え、1年毎の収支計算により剰余金が出た場合には、配当金のお支払いがあり保険料の実質負担が更に軽減されます。

### 5 専門医共通講習(担当：学術広報課)

本会主催の研修会で、日本専門医機構の専門医更新に必要な「専門医共通講習」の単位を取得でき、会員は講習会を無料で受講できます。また医師会システム上で単位の管理を行うため、県医師会にお問い合わせいただくことで、取得単位の確認を容易に行うことができます。

### 6 女性医師等支援(担当：地域医療課)

#### (1)研修会時無料託児サービス

県医師会館で開催される研修会や講演会に、時間を気にせずゆっくり参加していただくため、保育士が、先生のお子さんを県医師会内の託児ルームでお預かりします。

#### (2)保育支援サービス

急な残業や出張が入ったとき、お子様が病気(病気回復期)だが仕事が休めないとき、美容室に行ったりリフレッシュしたいときなどに、保育サポーターが自宅等でお子様をお預かりします。サービス利用にあたっては、事前に先生に合った保育サポーターをマッチングします。

#### (3)女性医師相談窓口

女性医師が抱える様々な悩みに、女性医師コーディネーターが直接ご相談をお受けします。

## 勤務医・研修医の先生へお知らせ【医師協同組合】 ～春の異動シーズンに備えて～

### ◆便利な「共同購買事業」のご案内

#### 1. 書籍購入のメリット

- 医学書や一般図書などの購入は、10%割引になります。
- 1冊のご注文も可能です。
- 医療機関以外のお届け先指定も可能です。(送料無料)

#### 2. メディカルMCカードのメリット

- 年会費永年無料です。
- 宮崎信販と提携したカードで、県内300店舗以上の提携店で、3%～10%の割引があります。
- (エムシークラブオフ)  
全国20万か所で使えるクーポン、優待特典があります。

### ◆勤務医が加入しやすい「休診共済・生命共済」のご案内

- 医師の診査は不要で、簡単な告知のみで加入できます。
- 払込方法を年払いにすると11か月分になります。(年1回4月のみ)
- 保険料や保険金額は、年齢によって変動します。

#### 【休診共済】 病気やケガによる就業不能時の休業損害を補償します。

|       | 日額補償 | 7,000 円 | 14,000 円 | 21,000 円 |
|-------|------|---------|----------|----------|
| 月額保険料 | 25 歳 | 1,200 円 | 2,400 円  | 3,600 円  |
|       | 35 歳 | 1,500 円 | 3,000 円  | 4,500 円  |
|       | 45 歳 | 1,800 円 | 3,600 円  | 5,400 円  |

#### 【生命共済】 死亡・重度障害となった場合にお支払いします。

|               | 補償額  | 300 万円  | 600 万円  | 1,000 万円 |
|---------------|------|---------|---------|----------|
| 月額保険料<br>(男性) | 25 歳 | 480 円   | 820 円   | 1,150 円  |
|               | 35 歳 | 580 円   | 1,150 円 | 1,910 円  |
|               | 45 歳 | 1,120 円 | 2,120 円 | 3,520 円  |

※補償額は、50万から2,000万までの10種類から選択できます。

◇ホームページ：[宮医協 検索 http://www.zen.ikyo.or.jp/miyazaki/](http://www.zen.ikyo.or.jp/miyazaki/)

## 医師国保組合だより

## 保健事業のご案内

医師国保組合では、各種保健事業を実施しております。それぞれの実施期間及び接種期間は平成30年3月末日までです。身体の状態をチェックする機会として、ぜひご利用ください。

## 1 健康診断

|       |                                                                                                   |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対 象 者 | 次のいずれかに該当する被保険者の方々です。<br>①組合員、高齢組合員並びにその配偶者<br>②ご家族のうち、本年度中に満40歳になる方～74歳の方                        |
| 実施機関  | 各地域の健診機関並びに医療機関<br>※上記対象者は自院で実施されても請求できます。<br>費用については、送付しております「健康診断個人票」の検査項目に対して助成します（最大44,950円）。 |

## 2 胃・大腸内視鏡検査の補助

|           |                                                                      |
|-----------|----------------------------------------------------------------------|
| 対 象 者     | 健康診断対象者と同じ                                                           |
| 検査内容・補助金額 | ①胃内視鏡検査 15,280円<br>②大腸内視鏡検査 21,790円<br>※それぞれ1人1回、上記金額を上限として実費を補助します。 |
| 請求方法      | 支給申請書により、組合に申請してください。                                                |

## 3 インフルエンザワクチン接種補助

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 対 象 者 | 被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員 |
| 補助金額  | 1人1回2,000円(高齢組合員は1,000円)      |
| 請求方法  | 支給申請書により、組合に申請してください。         |

## 4 その他保健事業

請求方法等の詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業のご案内」、または、当組合ウェブサイトをご覧ください。

- 1) 低線量ヘリカルCT肺がん検診
- 2) 脳ドック等の補助
- 3) 肺炎球菌ワクチン接種補助
- 4) 歯科健康診査

## 被保険者の資格喪失届について

世帯内のご家族が協会けんぽ等の他の医療保険に加入される場合には、資格喪失届が必要です。組合員は事由発生から14日以内に被保険者証を添えて届け出てください。

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL: 0985-22-6588 FAX: 0985-27-6550

※ 申請書は、当組合ウェブサイトからもダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

**平成30年1月9日(火)第26回常任理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 本会外の役員等の推薦について**

①宮崎県蚊媒介感染症対策協議委員の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で、引き続き峰松理事を推薦することが承認された。

**2. 3/3(土)・4(日)(福岡)九州医師会連合会第2回各種協議会「医療保険対策協議会」「介護保険対策協議会」について**

日本医師会役員が行う講演内容に対する要望の照会で、医療保険は小牧常任理事、介護保険は金丸常任理事を取りまとめ責任者となることが承認された。

**3. 平成30年九州各県花粉情報の観測について**

例年通り、宮崎・都城・延岡の3か所を定点として、1/31～4/30(報道期間は2/1～4/15)の間、関係機関と共に花粉観測に協力することが承認された。

**4. 1/19(金)(JA-AZM)新規集団指導の実施について**

8医療機関を対象に開催される新規集団指導の後、県医師会主催で県医師会の活動をテーマにした説明会を行うことが承認された。

**5. 1/25(木)(県庁)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施****に係る立会について**

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、小牧常任理事を立会人として派遣することが承認された。

**6. 平成29年度在宅医療関連講師人材養成事業(小児在宅医療分野)における受講者の推薦について**

地域における在宅医療推進活動の中心的役割を担う講師の育成を目的に開催される研修会で、大学、県立病院、関係医療機関から人選して推薦することが承認された。

**(報告事項)****1. 週間報告について****2. 12月末日現在の会員数について****3. 1/4(木)(宮観ホテル)新年賀詞交歓会について****4. H29.12/27(水)社会保険医療担当者の監査の実施に係る立会について****5. H29.12/21(木)(県医)医師会立看護学校担当理事連絡協議会について****6. 1/9(火)(県医)治験審査委員会について****医師連盟関係****(議決事項)****1. 2/24(土)(東京)平成29年度「日医連医政活動研究会」開催について**

都道府県医師連盟委員長及び医政活動研究会のメンバーを対象に行われる会で、吉田常任執行委員が出席することが承認された。

**(報告事項)****1. 1/6(土)(宮観ホテル)三師会合同新春懇談会について****平成30年1月16日(火)第27回常任理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 2/10(土)(宮観ホテル)平成29年度第2回母体保護法指定医師研修会について**

日医今村常任理事、県産婦人科医会嶋本・肥後副会長を講師として研修会を開催する

こと及び九州各県医師会に案内することが承認された。

## 2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎少年鑑別所視察委員会委員候補者の推薦について

→在所者の人権を尊重した施設の運営等に資するために設置された委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、候補者の人選に関しては立元常任理事に一任することが承認された。

## 3. 後援・共催名義等使用許可について

①2/1(木)(ホテル中山荘)「第6回都城地区在宅医療講演会(研修会)」の名義後援について

→「生と死をみつめて」と題し本会の石川常任理事が講師を務める講演会で、名義後援を行うことが承認された。

## 4. 3/5(月)(日医)都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会の開催について

本年4月1日に実施される診療報酬改定等の説明のため開催される連絡協議会で、小牧常任理事が中心となり、社保担当役員の中から3名を人選して派遣することが承認された。

## 5. 社会保険医療担当者の監査の実施に係る立会について

1 医療機関を対象に行われる監査で、1/31(水)、2/1(木)の両日開催されることから、宮崎市郡医師会の派遣状況を踏まえ、濱田副会長、小牧常任理事、石川常任理事の3名で対応することが承認された。

### (報告事項)

#### 1. 週間報告について

#### 2. 1/14(日)(日医)在宅医療関連講師人材養成事業研修会について

#### 3. 1/12(金)(宮観ホテル)職員採用内定者懇談会について

#### 4. 1/15(月)(県医)高次脳機能障がい講演会について

#### 5. 1/16(火)(第一宮銀ビル)県後期高齢者医療

#### 広域連合運営懇話会について

#### 6. 1/15(月)(県医)広報委員会について

#### 7. 1/10(水)(宮観ホテル)病院部会・医療法人部会合同理事会について

#### 8. 1/11(木)(県医)地域医療構想に関する打合せ会について

#### 9. 1/12(金)(日医)日医勤務医委員会について

#### 10. 県内医師数について

#### 11. その他

①厚労省「医師の働き方改革に関する検討会」の議論について

### 平成30年 1 月23日(火)第28回常任理事協議会

#### 医師会関係

#### (議決事項)

#### 1. 後援・共催名義等使用許可について

①4/21(土)(ウエルネス交流プラザ)「日本尊厳死協会みやざき公開講演会」名義後援のお願いについて

→「終末期における医療の選択の権利」としてのリビング・ウィルの健全な理解と普及を目的に開催される講演会で、名義後援を行うことが承認された。

#### 2. 3/25(日)(日医)第141回日本医師会臨時代議員会について

平成30年度の日本医師会事業計画及び予算の報告、会費減免申請等を協議するために開催される臨時代議員会で、本会から4名(河野会長、富田・濱田副会長、立元常任理事)の代議員が出席することが承認された。

#### 3. 生活情報紙「きゅんと」への寄稿文のお願いについて

主に毎月2回、女性及びファミリー層向けに発刊している生活情報紙で、専門分科医会等の協力を得ながら、「HEALTH 医師の健康コラム」に健康教育の一環として協力することが承認された。

4. 3/24(土)(東京)全国医師会医療秘書学院連絡協議会 平成29年度第2回常任委員会及び第2回運営委員会の開催について

医療秘書学院を設置する都道府県医師会をもって組織される連絡協議会で、常任委員会及び運営委員会に富田副会長が出席すること及び次期当番県医師会会長挨拶を代理で行うことが承認された。

5. 3/7(水)(日医)第19回都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会の開催について

平成30年度介護報酬改定について議論する協議会で、金丸常任理事が出席すること及びテレビ会議システムを用いて県医師会館で受信することを各郡市医師会の担当理事に案内することが承認された。なお、復講については、後日、状況等を踏まえ検討することとなった。

6. 3/10(土)(高岡町福祉保健センター) SFTS講演会の共催について

行政及び県獣医師会が主催するSFTS(重症熱性血小板減少症候群)に関する講演会で共催することが承認された。

(報告事項)

1. 1/10(水)(支払基金)支払基金幹事会について
2. 1/12(金)(宮観ホテル)宮崎市郡医師会新年例会並びにしのめ医学会特別講演会について
3. 1/16(火)(日医)都道府県医師会長協議会について
4. 1/19(金)(JA-AZM)新規保険医療機関への説明会について
5. 1/18(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者の個別指導について
6. 1/19(金)(県庁)県歯科保健推進協議会について
7. 1/18(木)(県庁)県高齢者サービス総合調整推進会議について
8. 1/17(水)(県医)日医認定産業医制度関係小委員会について
9. 1/20(土)(福岡)九医連救急・災害医療担当

理事連絡協議会について

10. 1/20(土)・21(日)(福岡)九州ブロック災害医療研修会について
11. 1/21(日)(県医)緩和ケアチーム研修会について
12. その他
  - ①宮崎市小児救急医療確保検討会について

平成30年 1 月30日(火)第10回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県重症難病患者入院施設確保事業における難病医療連絡協議会委員の推薦及び承諾について
 

→本県の重症難病患者の円滑な受入れ等を目的に設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き池井常任理事を推薦することが承認された。

2. 平成30年度健診医ならびに講師派遣のお願いについて

楽しい育児教室、マタニティー教室、宮日巡回健診等の事業を実施するにあたり、本会に対し講師や健診医を委嘱することの了解を求めるもので、例年通り承認することとなった。

3. 2/6(火)(県医)各郡市医師会長協議会について

1/16の都道府県医師会長協議会の報告に加え、宮崎市郡医師会の「訪問看護」等に関する議題に池井常任理事が回答すること及び、地域医療計画、医療事故調査制度、医師資格証等の現況報告等を行うことが承認された。

4. 2/25(日)(県医)宮崎県医師会創立129周年記念医学会の開催について

メール、ファックス等を用いて会員に案内すること及び、本会役員を対象に、医学会開会前に医神祭を行うことが承認され

た。

5. 第141回日本医師会臨時代議員会(3月25日(日)日医)における九州ブロック代表質問・個人質問について

九州ブロックからの質問について、本会役員及び出席予定の日医代議員で質問事項がある場合には事務局へ申し出ることとなり、その取扱いについては河野会長に一任することが承認された。

6. 3/30(金)(宮観ホテル)各郡市医師会役員連絡協議会の開催について

各郡市医師会の役員等を対象に開催する連絡協議会で、講師に日本医師会の横倉会長をお招きすること及び懇談会を開催することが承認された。

7. 3/14(水)(日医)都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会の開催について

「働き方改革実行計画」を踏まえた産業保健分野の問題点について、意見交換すること等を目的に開催される連絡協議会で、佐々木(幸)常任理事が出席することが承認された。

8. HIV・エイズ対策講習会の共催について

県の感染症対策室が中心となり、「宮崎県のHIV・エイズの現状について」と題して県立宮崎病院の菊池院長が講師を務める講習会で、共催団体として協力することが承認された。また、現在、公衆衛生担当に感染症対策、エイズ対策等が含まれているが、今後、担当役員の役割分担についても検討していくこととなった。

9. 2・3月の行事予定について

2月の追加行事について確認が行われた。

(報告事項)

1. 1/27(土)(沖縄)九医連常任委員会について
2. 1/27(土)・28(日)(広島)医療事故調査制度に係る支援団体統括者セミナーについて
3. 1/25(木)(県庁)社会保険医療担当者の個別指導について

4. 1/26(金)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

5. 1/25(木)(県医)広報委員会について

6. 1/25(木)(県婦人会館)県医療計画策定委員会について

7. 1/26(金)(県医)特定健康診査等従事者研修会について

8. 1/29(月)(県医)県臨床研修・専門研修運営協議会WGについて

9. 1/27(土)(沖縄)九医連HIV医療講演会について

10. 1/27(土)(沖縄)九医連感染症担当理事連絡協議会について

11. 12/27(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について

12. 1/20(土)(県医)産業医研修会について

13. 1/26(金)(県医)労災部会自賠委員会・損害保険医療協議会について

14. 1/17(水)(県看護等研修センター)新人看護職員研修推進協議会について

15. 1/18(木)(宮大医学部)宮大医学部医の倫理委員会について

16. 12/26(火)(ニューウェルシティ宮崎)県自殺対策トップセミナーについて

17. その他

①県柔道整復師会の講師派遣依頼に関する県整形外科医会の見解について

②2/11(日)(別府市)「ワンヘルスに関する連携シンポジウム－ヒトと動物の共通感染症－」について

③2/17(土)(県立看護大学)子どもとメディアみやぎ第1回フォーラム「電子メディア社会の子どもたち～宮崎の現状～」について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会  
(報告事項)

1. 1/26(金)(わらしべ)医協理事会について

# 県 医 の 動 き

(2月)

|    |                                                                                                                                                                      |    |                                                                                                                              |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 社会保険医療担当者の監査(石川常任理事)<br>医療従事者向け認知症対応力向上研修会(TV会議)<br>(富田副会長他)                                                                                                         | 14 | (日医)日医女性医師支援事業連絡協議会<br>(荒木常任理事他)<br>県メディカルコントロール協議会(富田副会長)<br>県がん対策審議会(会長)                                                   |
| 2  | 県総合計画審議会(会長)<br>県スポーツドクター連盟総会(佐藤理事)<br>健康スポーツ医学セミナー(会長他)<br>地域のちから・介護予防推進事業に関する連絡会議(金丸常任理事)                                                                          | 15 | 県献血推進協議会(峰松理事)<br>県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会(金丸常任理事)<br>医師国保組合理事会(秦理事長他)                                                         |
| 3  | (日医)日医医療情報システム協議会(富田副会長他)<br>(佐賀)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・講習会(金丸常任理事)<br>労災部会自賠責保険研修会(川野理事他)                                                                             | 16 | 県国保連合会理事会(秦理事長)<br>県国保連合会通常総会(秦理事長)<br>(東京)横倉義武日医会長 世界医師会長就任祝賀会<br>県感染症発生動向調査委員会(濱田副会長)<br>広報委員会(富田副会長他)                     |
| 4  | (日医)日医医療情報システム協議会(富田副会長他)<br>県災害医療コーディネート研修会(小牧常任理事他)<br>日医医療秘書認定試験<br>(佐賀)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・講習会(金丸常任理事)<br>県小児科医会役員会(高村常任理事他)<br>県小児救急医療電話相談事業運営協議会<br>(高村常任理事他) | 17 | (佐賀)人体シミュレータを用いた在宅医療研修会<br>九州地区医師国保組合連合会理事会・全体協議会(秦理事長他)                                                                     |
| 5  | 県医療審議会(会長)<br>介護保険に関する主治医研修会(TV会議)<br>(富田副会長他)<br>県肝炎対策懇話会(小牧常任理事)                                                                                                   | 18 | 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会<br>(福岡)全国有床診療所連絡協議会九州ブロック役員会及び講演会(会長)<br>(日医)日医母子保健講習会(濱田副会長)                                            |
| 6  | 県社会福祉審議会(会長)<br>第11回全理事協議会(会長他)<br>各都市医師会長協議会(会長他)                                                                                                                   | 19 | 県ロコモティブシンドローム対策協議会(佐藤理事他)<br>県麻しん風しん対策推進会議・広域化検討会議<br>(高村常任理事)<br>地域医療構想調整会議の進め方に関する協議会<br>(会長他)                             |
| 7  | 県保険者協議会(濱田副理事長)<br>県健康づくり推進協議会(富田副会長)<br>宮崎産業保健総合支援センター運営協議会(会長他)                                                                                                    | 20 | 宮大医学部医の倫理委員会(糸数理事)<br>医協打合せ会(立元副理事長)<br>第30回常任理事協議会(会長他)                                                                     |
| 8  | (東京)全国国民健康保険組合協会理事長・役員研修会(秦理事長)<br>社会保険医療担当者の個別指導(嶋本理事)<br>(日医)日医医療IT委員会(荒木常任理事)<br>医療勤務環境改善支援センターアドバイザー研修会<br>県産婦人科医会常任理事会(嶋本理事)<br>県産婦人科医会情報システム・広報委員会<br>(嶋本理事)   | 21 | 大規模地震時医療活動訓練に係る調整会議<br>(富田副会長他)<br>県経済団体協議会及び知事・副知事との意見交換(会長)<br>情報システム委員会(荒木常任理事他)                                          |
| 9  | (日向)医療勤務環境改善支援センターアドバイザー研修会(実地研修)<br>(東京)医療関連サービス振興会シンポジウム<br>(石川常任理事)<br>県ナースセンター事業運営協議会(池井常任理事)<br>県HTLV-1母子感染対策協議会(濱田副会長)<br>県外科医会冬期講演会                           | 22 | (東京)救急医療に関する議員勉強会(金丸常任理事)<br>県医療費適正化計画策定検討委員会(池井常任理事)<br>(日医)日医医療秘書認定試験委員会(富田副会長)<br>(日医)日医公衆衛生委員会(吉田常任理事)<br>広報委員会(荒木常任理事他) |
| 10 | 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会<br>母体保護法指定医師研修会(濱田副会長他)<br>県内医師会病院連絡協議会(会長)                                                                                                      | 23 | (日医)都道府県医師会事務局長連絡会(※事務局)<br>認知症サポート医フォローアップ研修会(TV会議)<br>(米澤理事)                                                               |
| 12 | 医師クラーク養成・スキルアップ研修会                                                                                                                                                   | 24 | HTLV-1母子感染対策事業研修会(濱田副会長他)<br>(東京)日医連医政活動研究会(吉田常任執行委員)<br>女性医師委員会(富田副会長他)<br>地域における女性医師支援懇談会(荒木常任理事他)                         |
| 13 | 宮大医学部附属病院専門研修プログラム連絡協議会(金丸常任理事)<br>県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会<br>(小牧常任理事)<br>治験審査委員会(富田副会長他)<br>第29回常任理事協議会(会長他)                                                             | 25 | 創立129周年記念医学会・県民健康セミナー(会長他)                                                                                                   |
|    |                                                                                                                                                                      | 26 | 県内科医会理事会(小牧常任理事)                                                                                                             |
|    |                                                                                                                                                                      | 27 | 県がん診療連携協議会(会長)<br>九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>(小牧常任理事)<br>医協理事会(富田理事長他)<br>第31回常任理事協議会(会長他)                                         |
|    |                                                                                                                                                                      | 28 | 地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会(荒木常任理事)<br>労災診療指導委員会(川野理事他)                                                                        |

## 追 悼 の こ と ば

日向市東臼杵郡医師会

白石孝之先生

(大正8年11月6日生 99歳)

## 弔 辞

本日ここに、今は亡き白石孝之先生のご霊前に、日向市東臼杵郡医師会を代表いたしまして、謹んでお別れの言葉を申し上げます。

先生が、2月9日の午後1時15分に99歳のご生涯を静かに閉じられたとの悲報が届き、会員一同悲しみの気持ちでいっぱいでございます。

先生は、人情味あふれ、誰に対しても誠心誠意、公平無私でありました。患者さんをはじめ誰もがその風格を親しみ、その徳を慕っていました。先生が地域医療の発展に尽くされた功績は非常に大きく、特に門川地区の学校医、保育所の嘱託医としての功績は私どもの胸裡にとこしえに残ることでしょう。

私たちは、そんな先生を尊敬しておりました。先生を失ったことは痛恨の極みであり、ご遺族の悲しみとご落胆は如何ばかりかとお察し申し上げ、心から哀悼の意を表す次第です。

先生は、昭和16年3月に京城医学専門学校をご卒業後、京城医専付属病院第一内科に入局され、同年に陸軍軍医将校として満州に出征されています。そして、昭和20年9月から昭和23年6月までの2年9か月あまりを餓鬼と酷寒の中で、苦難苦悩のシベリア抑留生活も経験されています。私どもには想像もつきませんが、今思い起こせば、先生の剛気不屈の精神の源だったのでしょ。

先生は、昭和23年に日本に帰還され、1年あまり国立宮崎療養所に勤務され、昭和25年1月から昭和36年の6月まで門川町の樋口病院に勤務されていました。昭和36年7月、43歳の時に白石病院を開設され、内科医師として長きにわ



たり患者さん第一で診療に尽力され、ご多忙な日常業務の傍ら門川町内の学校3校の校医、6か所の保育所の嘱託医を勤めてこられました。中でも草川小学校は開院の翌年から40年あまりの間、健康診断はもとより、学校保健委員会の充実を図り、児童の健康の増進、保健活動等に適切な指導、助言、保護者への啓発に取りくまれました。

その結果同校は昭和50年度から7回、県の健康優良校として県教育長賞を、昭和59年度から連続して4回の文部大臣賞を、平成5年には朝日新聞社から全国表彰を受ける実績につながる功績を残されました。

また、東臼杵郡南部地区(当時2町5村)の学校保健会会長を30年あまり勤めるなど、精力的に保健教育・健康管理の推進に当たられたことは周知のとおりです。

これらの取組みに対して昭和60年11月門川町制50周年記念教育文化功労学校医表彰を、平成5年1月には学校保健・学校安全功労県教育長賞を、平成12年11月には学校保健文部科学大臣表彰を受賞されています。

先生の責任感の強い生き方には、会員一同深い尊敬の念をいだくとともに、感謝の念でいっぱいです。先生が地域医療の発展に尽くされた功績は非常に大きいものがあります。先生のご逝去は、私どもにとりましても大きな傷手であることはもちろんですが、それ以上に、ご遺族の悲嘆の深さは余りあるものがあることでしょう。

白石病院はご子息の正浩先生が立派に引き継いでおられますので、今後さらに発展し続けるものと確信しています。

白石孝之先生、惜別の情絶ち難いものがありますが、今ここに在りし日の先生の面影を偲びつつ、哀悼の誠を捧げ、安らかなるご冥福をお祈り申し上げまして、お別れの言葉といたします。

平成30年2月12日

日向市東臼杵郡医師会

会長 渡 邊 康 久

## 2月のベストセラー（宮崎県）

集計：2018年2月1日～2月25日

|    |                 |           |         |
|----|-----------------|-----------|---------|
| 1  | おらおらでひとりいぐも     | 若 竹 千 佐 子 | 河 出 書 房 |
| 2  | 漫画版 君たちはどう生きるか  | 吉 野 源 三 郎 | マガジンハウス |
| 3  | げんげ             | 佐 伯 泰 英   | 文 藝 春 秋 |
| 4  | 日本史の内幕          | 磯 田 道 史   | 中央公論新社  |
| 5  | 君たちはどう生きるか      | 吉 野 源 三 郎 | マガジンハウス |
| 6  | あきない世傳 金と銀⑤     | 高 田 郁     | 角川春樹事務所 |
| 7  | おちゃめに100歳! 寂聴さん | 瀬 尾 ま な ほ | 光 文 社   |
| 8  | いのち             | 瀬 戸 内 寂 聴 | 講 談 社   |
| 9  | 棲月              | 今 野 敏     | 新 潮 社   |
| 10 | 孤独のすすめ          | 五 木 寛 之   | 中央公論新社  |

明林堂書店調べ 提供：本郷店(宮崎市大字本郷北方) ☎(0985)56-0868

## 医 療 事 故 調 査 制 度

## 宮崎県医師会 相談窓口

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。  
医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

宮崎県医師会 電話 **0985-22-5118**

## 【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話(0985-22-5118)で対応いたします。

時間外または日曜祝祭日等県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の医療事故調査・支援センター相談専門電話(03-3434-1110)にご連絡ください。

## 【その他】

この制度は、医療事故の再発防止により医療の安全を確保することを目的にした制度です。対象事案を報告するか否かについては、医療機関の管理者が組織として判断することになっており、ご遺族から医療事故調査・支援センターに直接報告や調査依頼をする仕組みではありません。

# ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成30年2月13日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報がよせられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

## 1. 求職者登録数 4人

### 1) 男性医師求職登録数 4人 (人)

| 希望診療科目   | 求職数 | 常 勤 | 非常勤 |
|----------|-----|-----|-----|
| 内 科      | 2   | 0   | 2   |
| 胃腸科・放射線科 | 1   | 0   | 1   |
| 老 健      | 1   | 1   | 0   |

### 2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

| 希望診療科目 | 求職数 | 常 勤 | 非常勤 |
|--------|-----|-----|-----|
|        | 0   | 0   | 0   |

## 2. 斡旋成立件数 62人 (人)

|            | 男性医師 | 女性医師 | 合 計 |
|------------|------|------|-----|
| 平 成 29 年 度 | 6    | 1    | 7   |
| 平成16年度から累計 | 46   | 16   | 62  |

## 3. 求人登録 89件 340人 (人)

| 募集診療科目        | 求人数 | 常 勤 | 非常勤 | 募集診療科目          | 求人数 | 常 勤 | 非常勤 |
|---------------|-----|-----|-----|-----------------|-----|-----|-----|
| 内 科           | 99  | 76  | 23  | 消 化 器 外 科       | 4   | 2   | 2   |
| 外 科           | 30  | 24  | 6   | 乳 腺 外 科         | 3   | 3   | 0   |
| 整 形 外 科       | 26  | 22  | 4   | 健 診             | 8   | 5   | 3   |
| 精 神 科         | 16  | 14  | 2   | 泌 尿 器 科         | 2   | 1   | 1   |
| 脳 神 経 外 科     | 12  | 8   | 4   | 産 婦 人 科         | 1   | 1   | 0   |
| 循 環 器 科       | 10  | 7   | 3   | 検 診             | 3   | 1   | 2   |
| 消 化 器 内 科     | 15  | 12  | 3   | 皮 膚 科           | 5   | 2   | 3   |
| 麻 酔 科         | 13  | 10  | 3   | 婦 人 科           | 2   | 2   | 0   |
| 眼 科           | 6   | 4   | 2   | 呼 吸 器 外 科       | 4   | 3   | 1   |
| 放 射 線 科       | 11  | 10  | 1   | 人 工 透 析         | 7   | 5   | 2   |
| 小 児 科         | 4   | 2   | 2   | リ ウ マ チ 科       | 1   | 1   | 0   |
| 呼 吸 器 科       | 3   | 3   | 0   | 臨 床 病 理 科       | 1   | 1   | 0   |
| 在 宅 診 療       | 2   | 2   | 0   | 形 成 外 科         | 2   | 1   | 1   |
| 総 合 診 療 科・内 科 | 3   | 3   | 0   | 診 療 科 目 不 問     | 3   | 3   | 0   |
| 神 経 内 科       | 8   | 6   | 2   | 緩 和 ケ ア         | 1   | 1   | 0   |
| 呼 吸 器 内 科     | 10  | 9   | 1   | 内 分 泌 糖 尿 病 内 科 | 1   | 1   | 0   |
| リハビリテーション科    | 4   | 4   | 0   | そ の 他           | 11  | 8   | 3   |
| 救 命 救 急 科     | 9   | 9   | 0   | 合 計             | 340 | 266 | 74  |

## 求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施 設 名                     | 所 在 地 | 募集診療科                        | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|---------------------------|-------|------------------------------|-----|--------|
| 160011 | 赤十字センター                   | 宮 崎 市 | 検診                           | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160013 | 医)三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮 崎 市 | 脳外,整,放,麻,内                   | 9   | 常勤・非常勤 |
| 160017 | 医)プレストピア プレストピア宮崎病院       | 宮 崎 市 | 乳外,放,麻                       | 3   | 常勤     |
| 160020 | 財)弘潤会 野崎病院                | 宮 崎 市 | 精,内                          | 2   | 常勤     |
| 160031 | 社医)同心会 古賀総合病院             | 宮 崎 市 | 呼内,神内,総診,呼外,病理,<br>乳外,整,麻,代内 | 9   | 常勤     |
| 160033 | 医)如月会 若草病院                | 宮 崎 市 | 精                            | 1   | 常勤     |
| 170046 | 医)社団善仁会 市民の森病院            | 宮 崎 市 | 消内,内分泌糖内,呼内,リウ,<br>神内,健診     | 9   | 常勤・非常勤 |
| 170048 | 医)慶明会 けいめい記念病院            | 国 富 町 | 内,放                          | 2   | 常勤     |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院               | 宮 崎 市 | 内,神内,整,消内,腫内                 | 5   | 常勤     |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                 | 宮 崎 市 | 消内,呼内,総診                     | 6   | 常勤     |
| 190094 | 医)耕和会 迫田病院                | 宮 崎 市 | 内,外                          | 2   | 常勤     |
| 190095 | 医)慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮 崎 市 | 眼                            | 1   | 常勤     |
| 200104 | 医)社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮 崎 市 | 内,外,救急,呼外,婦人,整,麻             | 12  | 常勤     |
| 200105 | 医)誠友会 南部病院                | 宮 崎 市 | 外,内,放                        | 3   | 常勤     |
| 210110 | 医)幸秀会 大江整形外科病院            | 宮 崎 市 | 整                            | 1   | 常勤     |
| 210128 | 医)真愛会 高宮病院                | 宮 崎 市 | 精                            | 2   | 常勤     |
| 230132 | 医)康友会 青島クリニック             | 宮 崎 市 | 内                            | 1   | 常勤     |
| 230134 | 医)慈光会 宮崎若久病院              | 宮 崎 市 | 精                            | 2   | 常勤     |
| 230139 | 介護老人保健施設 サンフローラみやざき       | 国 富 町 | 内,外                          | 2   | 常勤     |
| 230143 | 医)社団孝尋会 上田脳神経外科           | 宮 崎 市 | 脳外,内                         | 2   | 常勤     |
| 230144 | 宮崎生協病院                    | 宮 崎 市 | 呼内,消内,健診,麻                   | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230146 | 財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮 崎 市 | 内,外,整,脳外,リハ,麻,救急,<br>緩和      | 13  | 常勤     |
| 230148 | 医)コムロ美容外科                 | 宮 崎 市 | 美外,形成外,外,麻                   | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230161 | 医)健心会 滝口内科医院              | 宮 崎 市 | 内,皮                          | 2   | 非常勤    |
| 230164 | 宮崎県保健所                    | 宮 崎 市 | 公衆衛生                         | 3   | 常勤     |
| 230175 | 社会福祉法人 キャンパスの会            | 宮 崎 市 | 内,小,整(いずれか)                  | 1   | 常勤     |
| 230177 | 医)社団尚成会 近間病院              | 宮 崎 市 | 内,消内,消外,放(いずれか)              | 1   | 常勤     |
| 230178 | 介護老人保健施設 むつみ苑             | 宮 崎 市 | 内                            | 1   | 常勤     |
| 230180 | 一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院     | 宮 崎 市 | 内,糖内,呼内,血内                   | 4   | 常勤     |
| 230184 | グリーンケア学園木花台               | 宮 崎 市 | 内                            | 1   | 非常勤    |
| 230185 | 医)朋詠会 獅子目整形外科病院           | 宮 崎 市 | 整,内                          | 2   | 常勤     |
| 160010 | 特医)敬和会 戸嶋病院               | 都 城 市 | 内,消内,整,神内                    | 7   | 常勤・非常勤 |
| 160018 | 医)宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都 城 市 | 内,放,脳外,外,眼,透,皮,腎内            | 22  | 常勤・非常勤 |
| 170057 | 医)清陵会 隅病院                 | 都 城 市 | 内,外,整                        | 3   | 常勤     |
| 180064 | 国立病院機構都城医療センター            | 都 城 市 | 呼内,総診,消内,腫内                  | 4   | 常勤     |
| 180081 | 恵心会 永田病院                  | 都 城 市 | 精                            | 2   | 常勤・非常勤 |
| 190092 | 都城市郡医師会病院                 | 都 城 市 | 内,呼内,消内                      | 5   | 常勤     |
| 210114 | 藤元病院                      | 都 城 市 | 精,内                          | 3   | 常勤     |
| 230127 | 医)倫生会 三州病院                | 都 城 市 | 消内,消外,乳外                     | 5   | 常勤・非常勤 |
| 230137 | 医)宏仁会 海老原内科               | 都 城 市 | 内                            | 1   | 常勤     |
| 230142 | 医)魁成会 宮永病院                | 都 城 市 | 内,リハ                         | 2   | 常勤     |

| 登録番号   | 施 設 名               | 所 在 地 | 募集診療科                     | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|---------------------|-------|---------------------------|-----|--------|
| 230153 | 都城健康サービスセンター        | 都 城 市 | 内                         | 1   | 非常勤    |
| 230162 | 藤元総合病院              | 都 城 市 | 内,透,循内,救急,放,呼内            | 12  | 常勤     |
| 230172 | 医)静雄会 藤元上町病院        | 都 城 市 | 内                         | 2   | 常勤     |
| 230179 | 医)与州会 柳田病院          | 都 城 市 | 外                         | 1   | 常勤     |
| 230181 | 介護老人保健施設 はまゆう       | 三 股 町 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230183 | 医)恵心会 坂元医院          | 都 城 市 | 消内,老人内,内                  | 5   | 常勤・非常勤 |
| 160012 | 医)伸和会 共立病院          | 延 岡 市 | 外,整,放,内                   | 6   | 常勤     |
| 160021 | 医)建悠会 吉田病院          | 延 岡 市 | 精                         | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160034 | 特医)健寿会 黒木病院         | 延 岡 市 | 消外,消内                     | 4   | 常勤・非常勤 |
| 190086 | 早田病院                | 延 岡 市 | 消内,循内                     | 2   | 常勤     |
| 200100 | 医)育生会 井上病院          | 延 岡 市 | 産婦,内,小                    | 3   | 常勤・非常勤 |
| 200102 | 延岡市医師会病院            | 延 岡 市 | 消内,消外,内                   | 3   | 常勤     |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター         | 延 岡 市 | 内,小                       | 2   | 非常勤    |
| 230156 | 医)中心会 野村病院          | 延 岡 市 | 内,外                       | 2   | 常勤     |
| 230163 | 堺胃腸科内科クリニック         | 延 岡 市 | 内,胃内,消内,呼内,循内<br>(いずれか)   | 1   | 非常勤    |
| 230186 | 医)隆誠会 延岡保養園         | 延 岡 市 | 精                         | 1   | 常勤     |
| 230189 | 特医)健腎会 おがわクリニック     | 延 岡 市 | 泌,透                       | 4   | 常勤・非常勤 |
| 160039 | 医)誠和会 和田病院          | 日 向 市 | 外,整                       | 4   | 常勤     |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院         | 門 川 町 | 内,麻                       | 3   | 常勤     |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院       | 美 郷 町 | 内,整                       | 2   | 常勤     |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所      | 美 郷 町 | 内,整                       | 2   | 常勤     |
| 230160 | 日向市立東郷病院            | 日 向 市 | 内,整                       | 2   | 常勤     |
| 160006 | 都農町国保病院             | 都 農 町 | 内,放,外,健診                  | 5   | 常勤・非常勤 |
| 160023 | 医)宏仁会 海老原総合病院       | 高 鍋 町 | 内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,<br>眼,健診 | 13  | 常勤・非常勤 |
| 230170 | 介護老人保健施設 なでしこ園      | 高 鍋 町 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230187 | 国立病院機構宮崎病院          | 川 南 町 | 呼内,循内,糖内,神内,小,整           | 12  | 常勤・非常勤 |
| 160024 | 医)隆徳会 鶴田病院          | 西 都 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 150002 | 医)慶明会 おび中央病院        | 日 南 市 | 内                         | 4   | 常勤・非常勤 |
| 150003 | 医)同仁会 谷口病院          | 日 南 市 | 内                         | 1   | 非常勤    |
| 160022 | 医)愛鍼会 山元病院          | 日 南 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 160037 | 医)十善会 県南病院          | 串 間 市 | 精,内                       | 2   | 常勤     |
| 170047 | 日南市立中部病院            | 日 南 市 | 内,外,整,在宅                  | 4   | 常勤     |
| 180071 | 串間市民病院              | 串 間 市 | 内,外,総診,消内,腎内              | 5   | 常勤     |
| 230149 | 介護老人保健施設 おびの里       | 日 南 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230166 | 医)秀英会 介護老人保健施設 長寿の里 | 串 間 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230168 | 医)月陽会 きよひで内科クリニック   | 日 南 市 | 内                         | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230188 | 医)春光会 日南春光会病院       | 日 南 市 | 外,内                       | 4   | 常勤・非常勤 |
| 160019 | 医)相愛会 桑原記念病院        | 小 林 市 | 内,皮                       | 4   | 常勤・非常勤 |
| 170043 | 医)和芳会 小林中央眼科        | 小 林 市 | 眼                         | 2   | 常勤・非常勤 |
| 180067 | 小林市立病院              | 小 林 市 | 救急,総診,放                   | 5   | 常勤     |
| 180076 | 医)けんゆう会 園田病院        | 小 林 市 | 外,循内,整,脳外                 | 9   | 常勤・非常勤 |
| 190090 | 特医)浩然会 内村病院         | 小 林 市 | 精                         | 1   | 常勤     |
| 190091 | 医)友愛会 野尻中央病院        | 小 林 市 | 整,内,脳外                    | 6   | 常勤・非常勤 |
| 230167 | 介護老人保健施設 さわやかセンター   | 小 林 市 | 内                         | 1   | 非常勤    |
| 230169 | 医)連理会 和田クリニック       | 小 林 市 | 内                         | 2   | 常勤     |
| 170049 | 五ヶ瀬町国民健康保険病院        | 五ヶ瀬町  | 内,外                       | 2   | 常勤     |
| 180070 | 高千穂町国保病院            | 高千穂町  | 内,透                       | 3   | 常勤     |
| 190088 | 日之影町国保病院            | 日之影町  | 内,外(いずれか)                 | 1   | 常勤     |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成30年2月13日現在

|                 |                                                                                                                                                                |                               |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 譲渡物件         | ① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番<br>土地のみ: 2,022.17㎡(612.77坪)                                                                                                          | 所有者: 児湯医師会員<br>(医) 崧雲会 林クリニック |
|                 | ② 西都市中央町2丁目6番地<br>土地: 2,280.83㎡(691.16坪)<br>建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建<br>1階 674.74㎡ }<br>2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡(424.38坪)<br>3階 177.95㎡ }<br>※別途駐車場あり(20台)            | 所有者: 西都市西児湯医師会員<br>図師医院跡      |
| 2. 譲渡又は<br>賃貸物件 | ① 小林市南西方49番地1<br>土地: 1,991.34㎡ (603.43坪)<br>建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建<br>1階 471.41㎡ }<br>2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡(336.29坪)<br>※駐車場あり(30台)                              | 所有者: (医) 社団 産婦人科<br>生駒クリニック   |
| 3. 賃貸物件         | ① 延岡市無鹿町1丁目710<br>土地: 1,654.58㎡(501.38坪)<br>建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建<br>1階 145.76㎡ }<br>2階 338.70㎡ } 829.40㎡(251.33坪)<br>3階 330.69㎡ }<br>4階 14.25㎡ }<br>※駐車場あり(50台) | 所有者: (医) 社団 隆豊会<br>江崎医院跡      |
|                 | ② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地<br>土地: 875㎡(265.15坪)<br>建物: 木造瓦葺平家建<br>1階 114㎡(34.54坪)<br>※駐車場あり(20台)                                                                      | 所有者: 西臼杵郡医師会員<br>後藤医院跡        |

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

### ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)  
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179  
E-mail: isikyout@miyazaki.med.or.jp

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E-Mail : [genko@miyazaki.med.or.jp](mailto:genko@miyazaki.med.or.jp)

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、  
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年 2 月27日

| 3  |   |                                                                                                                                                                          | 月  |   |                                                                                                                                                                              |
|----|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 木 | 15:00 (日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会<br>19:00 県内科医会評議員会<br>19:00 医師国保組合通常組合会                                                                                                    | 15 | 木 | 17:00 県アイバンク協会理事会<br>19:00 広報委員会<br>19:00 地域医療資源データのwebサイト説明会(TV会議)                                                                                                          |
| 2  | 金 | 18:30 勤務医部会理事会<br>19:00 勤務医部会後期講演会                                                                                                                                       | 16 | 金 | 13:00 (東京)全国国保組合協会通常総会<br>14:00 県防災会議<br>17:30 西諸医師会臨時総会                                                                                                                     |
| 3  | 土 | 14:00 (福岡)九医連医療情報システム担当理事連絡協議会<br>15:25 県産婦人科医会ひむかセミナー<br>16:00 (福岡)九医連各種協議会合同 次期診療報酬改定・介護報酬改定に関する講演<br>18:00 (福岡)九医連常任委員会<br>18:00 (福岡)九医連次期診療報酬改定・介護報酬改定に関する各県質問事項協議   | 17 | 土 | 12:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会<br>13:30 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・研修会<br>15:00 県産婦人科医会 養護教諭と医師のための性教育研修会<br>18:00 各都市内科医会長会                                                        |
| 4  | 日 | 9:00 (福岡)九医連第2回各種協議会<br>9:00 県産婦人科医会ひむかセミナー<br>10:00 (福岡)レジナビフェアin福岡<br>11:30 (福岡)九医連各種協議会報告会                                                                            | 18 | 日 | 10:00 九州外来小児科学研究会                                                                                                                                                            |
| 5  | 月 | 14:00 (日医)都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会<br>19:00 医療安全対策セミナー (TV会議)                                                                                                                | 19 | 月 | 13:30 県地域医療対策協議会、県地域医療支援機構代表者会議、宮大医学部地域医療・総合診療医学講座運営・支援協議会<br>19:00 各都市医師会社会保険担当理事連絡協議会                                                                                      |
| 6  | 火 | 18:00 治験審査委員会<br>19:00 第32回常任理事協議会                                                                                                                                       | 20 | 火 | 14:30 宮大経営協議会<br>18:20 医協打合せ会<br>18:30 治験理事会<br>19:00 第33回常任理事協議会                                                                                                            |
| 7  | 水 | 13:30 (日医)都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会<br>14:00 都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会(日医TV会議)<br>19:00 医学会誌編集委員会                                                                                  | 21 | 水 | (春分の日)<br>9:30 医師クラーク育成・スキルアップ研修会                                                                                                                                            |
| 8  | 木 | 14:00 みやざき子育てサポート連絡会議<br>19:30 県産婦人科医会全理事会                                                                                                                               | 22 | 木 | 14:00 宮大医学部医の倫理委員会                                                                                                                                                           |
| 9  | 金 | 14:00 県小児科医会打合せ会<br>都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会(日医TV会議)<br>14:00 県准看護師試験委員会<br>15:00 (日医)日医学術推進会議<br>16:00 (福岡)全国国保組合協会九州支部総会<br>17:00 県地域・職域連携推進協議会<br>19:00 医療機関経営セミナー(TV会議) | 23 | 金 | 13:30 県移植推進財団理事会<br>19:00 広報委員会                                                                                                                                              |
| 10 | 土 | 13:30 臨床検査精度管理勉強会<br>15:00 県産婦人科医会産後健診(EPDS)研修会<br>15:30 (福岡)九州医師協同組合連合会購買・保険部会<br>16:00 県内科医会総会                                                                         | 24 | 土 | 9:00 ICLS指導者養成ワークショップ<br>14:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会<br>15:30 日向市東臼杵郡医師会臨時総会<br>15:45 (東京)全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会<br>16:15 (東京)全国医師会医療秘書学院連絡協議会運営委員会<br>16:30 病院部会・医療法人部会医療従事者研修会 |
| 11 | 日 | 8:30 (福岡)九州医師協同組合連合会購買・保険部会<br>10:00 (日医)日医学校保健講習会                                                                                                                       | 25 | 日 | 8:30 ACLS研修会<br>9:00 (日医)九州ブロック日医代議員連絡会議<br>9:30 (日医)日医臨時代議員会<br>10:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会<br>10:30 医師国保組合歩こう会                                                                |
| 12 | 月 | 19:00 県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会<br>19:00 地域医療資源データのwebサイト説明会(TV会議)                                                                                                          | 26 | 月 | 19:00 県外科医会理事会                                                                                                                                                               |
| 13 | 火 | 15:00 宮大医学部附属病院医師研修管理委員会<br>19:00 第2回理事会<br>終了後 第12回全理事協議会                                                                                                               | 27 | 火 | 18:00 九州地方社会保険医療協議会<br>宮崎部会<br>18:15 医協理事会<br>19:00 第34回常任理事協議会                                                                                                              |
| 14 | 水 | 14:00 (日医)都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会<br>16:00 支払基金幹事会<br>16:30 (日医)日医医療秘書認定試験委員会<br>19:00 県医療勤務環境改善支援センター運営協議会                                                                 | 28 | 水 | 14:00 都城市北諸県郡医師会臨時社員総会<br>15:00 県健康づくり協会理事会<br>労災診療指導委員会                                                                                                                     |
|    |   |                                                                                                                                                                          | 29 | 木 | 19:30 延岡市医師会総会                                                                                                                                                               |
|    |   |                                                                                                                                                                          | 30 | 金 | 19:00 各都市医師会(連盟)役員連絡協議会                                                                                                                                                      |
|    |   |                                                                                                                                                                          | 31 | 土 |                                                                                                                                                                              |

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年 2 月27日

| 4                                                  |   |                                                    | 月  |   |                                          |
|----------------------------------------------------|---|----------------------------------------------------|----|---|------------------------------------------|
| 1                                                  | 日 |                                                    | 15 | 日 | 10：00 （京都）日本臨床内科医会総会                     |
| 2                                                  | 月 |                                                    | 16 | 月 |                                          |
| 3                                                  | 火 | 19：00 第1回常任理事協議会                                   | 17 | 火 | 19：00 第3回常任理事協議会                         |
| 4                                                  | 水 | 9：00 （日医）日医CBRNE（テロ災害）研修会                          | 18 | 水 |                                          |
| 5                                                  | 木 |                                                    | 19 | 木 | 19：00 勤務医委員会                             |
| 6                                                  | 金 |                                                    | 20 | 金 |                                          |
| 7                                                  | 土 | 18：00 （福岡）九医連常任委員会                                 | 21 | 土 | 15：00 県産婦人科医会春期総会                        |
| 8                                                  | 日 |                                                    | 22 | 日 |                                          |
| 9                                                  | 月 |                                                    | 23 | 月 | 19：00 医師国保組合理事会<br>19：00 県臨床研修・専門研修運営協議会 |
| 10                                                 | 火 | 19：00 第2回常任理事協議会                                   | 24 | 火 | 19：00 第1回全理事協議会                          |
| 11                                                 | 水 |                                                    | 25 | 水 |                                          |
| 12                                                 | 木 | 19：00 県産婦人科医会全理事会                                  | 26 | 木 | 19：30 延岡市医師会臨時総会                         |
| 13                                                 | 金 | 14：00 （日医）日医勤務医委員会<br>14：30 宮大学長選考会議               | 27 | 金 |                                          |
| 14                                                 | 土 | 15：00 県産婦人科医会子宮頸がん併用検診研修会<br>17：00 （京都）日本臨床内科医会理事会 | 28 | 土 | 15：40 宮崎県臨床研修医説明会/新研修医祝賀会                |
| ※都合により、変更になることがあります。<br>行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。 |   |                                                    | 29 | 日 | （昭和の日）                                   |
|                                                    |   |                                                    | 30 | 月 | （振替休日）                                   |

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード(当日，参加証を交付)

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                                                     | 演 題                                                                                      | CC<br>(単位)<br>がん検診         | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第59回ひむか運動器セミナー</b><br>3月1日(木)<br>19:00～21:00<br>宮崎観光ホテル<br><br>参加費：1,000円 | <b>週1回テリパラチドの治療効果と安全な投与に向けた一工夫</b><br>高円寺整形外科 院長 大村 文敏                                   | 60<br>(0.5)<br>77<br>(0.5) | ◇主催<br>ひむか運動器セミナー<br>◇共催<br>宮崎臨床整形外科医会<br>※旭化成ファーマ(株)<br>☎0985-28-2736                                                   |
|                                                                              | <b>整形外科外来における医療倫理とリスク管理</b><br>船橋整形外科病院 副院長 白土 英明                                        | 2<br>(0.5)<br>4<br>(0.5)   |                                                                                                                          |
| <b>第213回宮崎県泌尿器科医会</b><br>3月1日(木)<br>19:00～20:30<br>宮崎観光ホテル                   | <b>がん細胞微小環境と悪性形質－泌尿器科領域のがんにおけるHGF-METシグナルの意義－</b><br>宮崎大学医学部病理学講座<br>腫瘍・再生病態学分野 教授 片岡 寛章 | 9<br>(0.5)                 | ◇主催<br>※宮崎県泌尿器科医会<br>☎0985-85-2968<br>◇共催<br>第一三共(株)                                                                     |
|                                                                              | <b>血栓の形成機序と抗血栓薬</b><br>宮崎大学医学部病理学講座<br>構造機能病態学分野 教授 浅田 裕士郎                               | 9<br>(0.5)                 |                                                                                                                          |
| <b>延岡医学会学術講演会－延岡消化器病研究会－</b><br>3月2日(金)<br>18:50～20:00<br>ホテルメリージュ 延岡        | <b>宮崎大学外科学講座の3年間の現状</b><br>宮崎大学医学部外科学講座肝胆膵外科学分野 教授 七島 篤志                                 | 27<br>(0.5)<br>53<br>(0.5) | ◇主催<br>延岡消化器病研究会<br>◇共催<br>画像診断研究会<br>宮崎県北消化器内視鏡懇談会<br>延岡医学会<br>EAファーマ(株)<br>エーザイ(株)<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |

| 名称・日時・場所                                                                                                           | 演 題                                                                                              | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>平成29年度宮崎県<br/>医師会勤務医部会<br/>後期講演会</b><br>3月2日(金)<br>19:00～20:40<br>県医師会館                                         | <b>宮崎県の周産期医療におけるpopulation-based研究<br/>と脳障害予防への取り組み</b><br>宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座<br>産婦人科学分野 教授 児玉 由紀 | 12<br>(0.5)                    | ◇主催<br>宮崎県医師会勤務医部会<br>(連絡先)<br>宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                             |
|                                                                                                                    | <b>2025年の医療問題</b><br>産業医科大学医学部公衆衛生学教室 教授<br>松田 晋哉                                                | 13<br>(1.0)                    |                                                                                    |
| <b>西諸医師会・西諸<br/>内科医会合同学術<br/>講演会</b><br>3月2日(金)<br>19:00～20:30<br>ガーデンベルズ小<br>林                                    | <b>逆流性食道炎の症状改善効果についての検討</b><br>榎内視鏡内科医院 副院長 榎 信一郎                                                | 52<br>(0.5)                    | ◇主催<br>※西諸医師会<br>☎0984-23-2113<br>◇共催<br>西諸内科医会<br>第一三共(株)                         |
|                                                                                                                    | <b>早期胃癌の内視鏡診断</b><br>元 福岡大学筑紫病院内視鏡部 講師 長浜 孝                                                      | 53<br>(0.5)<br><br>82<br>(0.5) |                                                                                    |
| <b>平成29年度第3回<br/>日本東洋医学会福<br/>岡・宮崎合同県部<br/>会宮崎中継</b><br>3月4日(日)<br>13:00～16:00<br>宮崎大学医学部総<br>合教育研究棟<br>参加費:3,000円 | <b>西洋医学的視点と東洋医学的視点<br/>ー感染症の漢方を中心にー</b><br>福岡大学医学部総合診療部 教授<br>福岡大学病院総合診療部 部長 鍋島 茂樹               | 15<br>(0.5)                    | ◇主催<br>※日本東洋医学会九州支部宮崎県部会<br>☎0985-85-0988<br>◇共催<br>日本東洋医学会九州支部福岡県部会<br>宮崎県医師会東洋医会 |
|                                                                                                                    | <b>西洋薬と東洋薬の効果的な併用<br/>(消化器病編, ビルクリニックの場合)</b><br>益田クリニック 院長 益田 龍彦<br>日向済生会病院外科 医長 岩永 淳           | 51<br>(0.5)                    |                                                                                    |
|                                                                                                                    | <b>腹診実技</b><br>宮崎大学医学部附属病院産婦人科 病院教授<br>山口 昌俊                                                     | 83<br>(0.5)                    |                                                                                    |

| 名称・日時・場所                                                                                                                                         | 演 題                                                                                        | CC<br>(単位)<br>がん検診 | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                             |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第124回 宮崎市郡<br/>医師会病院心臓病<br/>研究会</b><br>3月5日(月)<br>18:50～20:30<br>宮崎観光ホテル                                                                      | <b>心内血栓に対するDOACの可能性<br/>ーあなたならどう診ますか？ー</b><br>宮崎市郡医師会病院心臓病センター<br>循環器内科 医員 森久 健二           | 9<br>(0.5)         | ◇主催<br>宮崎市郡医師会病院心臓病研究会<br>◇共催<br>バイエル薬品(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119 |
|                                                                                                                                                  | <b>心房細動合併冠動脈疾患における抗血栓療法<br/>ー現状と今後の展望ー</b><br>熊本大学生命科学研究部循環器内科学 准教授<br>海北 幸一               | 73<br>(1.0)        |                                                                                   |
| <b>医療安全対策セミ<br/>ナー（宮崎県医師<br/>会医療安全対策研<br/>修会）【TV会議】</b><br>3月5日(月)<br>19:00～20:30<br>県医師会館【TV会<br>議場:都城, 延岡,<br>日向, 児湯, 西都,<br>南那珂, 西諸, 西<br>臼杵】 | <b>【専門医共通講習ー③医療安全(必修)】</b><br><b>安全対策の落とし穴ー効率性追求にひそむ罠ー</b><br>電気通信大学情報システム学研究科 教授<br>田中 健次 | 7<br>(1.0)         | ◇主催<br>※宮崎県医師協同組合<br>☎0985-23-9100<br>◇共催<br>宮崎県医師会                               |

| 名称・日時・場所                                                                 | 演 題                                                                                          | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第116回 江南医療<br/>連携の会症例検討<br/>会</b><br>3月8日(木)<br>19:00～20:45<br>宮崎江南病院 | <b>ガドリニウム造影剤</b><br>宮崎江南病院放射線科<br>古賀 治幸                                                      | 0<br>(0.5)                     | ◇主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>宮崎江南病院地域医療連携室<br>☎0985-52-4004                          |
|                                                                          | <b>当院での腰椎手術症例の検討</b><br>宮崎江南病院整形外科<br>坂田 勝美                                                  | 60<br>(0.5)                    |                                                                                     |
|                                                                          | <b>当院の緊急内視鏡症例について</b><br>宮崎江南病院内科<br>増田 稔                                                    | 51<br>(0.5)                    |                                                                                     |
| <b>延岡医学会学術講<br/>演会</b><br>3月9日(金)<br>19:00～20:50<br>ホテルメリージュ<br>延岡       | <b>消化器医が知っておきたい抗血栓療法とその合併症対策<br/>ー小腸・大腸病変を含めてー</b><br>国立病院機構都城医療センター<br>消化器病センター 医長<br>駒田 直人 | 50<br>(0.5)                    | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>第一三共(株)<br>◇後援<br>延岡内科医会<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0985-21-1300 |
|                                                                          | <b>日本から発信する心臓手術後心房細動の予防と管理法</b><br>日本大学医学部外科学系心臓血管外科学分野<br>講師<br>瀬在 明                        | 42<br>(0.5)<br><br>82<br>(0.5) |                                                                                     |

| 名称・日時・場所                                                                       | 演 題                                                                        | CC<br>(単位)<br>がん検診                                               | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                               |
|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 宮崎市郡医師会産<br>業医研修会<br>3月10日(土)<br>14:30～16:30<br>宮崎市郡医師会館                       | 長時間労働者への効果的な面接指導<br>宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治                                      | 0<br>(0.5)<br><br>1<br>(0.5)<br><br>4<br>(0.5)<br><br>5<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434                    |
| 平成29年度宮崎県<br>産婦人科医会産後<br>健診(EPDS) 研<br>修会<br>3月10日(土)<br>15:00～16:40<br>県立宮崎病院 | 周産期メンタルヘルスと質問票<br>メンタルクリニックあいりす 鈴宮 寛子                                      | 69<br>(0.5)<br><br>70<br>(0.5)                                   | ◇主催<br>※宮崎県産婦人科医会<br>☎0985-22-5118                  |
|                                                                                | 産婦健診の現状－現状からみられる今後の課題－<br>古賀総合病院産婦人科周産期母子センター<br>助産師長<br>宮崎県助産師会 副会長 田中 優子 | 5<br>(0.5)                                                       |                                                     |
| 宮崎県内科医会総<br>会並びに会員発表<br>会・特別講演会<br>3月10日(土)<br>16:00～18:35<br>県医師会館            | 痛みのメカニズム<br>－慢性痛の病態とそれに合った治療選択肢－<br>日本大学医学部麻酔科学系麻酔科学分野<br>主任教授 鈴木 孝浩       | 30<br>(0.5)<br><br>59<br>(0.5)                                   | ◇主催<br>※宮崎県内科医会<br>☎0985-22-5118<br>◇共催<br>塩野義製薬(株) |

| 名称・日時・場所                                                               | 演 題                                                                           | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                            |
|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| <b>HIV・エイズ対策<br/>講習会</b><br>3月11日(日)<br>14:00～16:00<br>宮崎県総合保健セ<br>ンター | <b>【専門医共通講習②感染対策(必修)】</b><br><b>宮崎県のHIV・エイズの現状について</b><br>宮崎県立宮崎病院 院長 菊池 郁夫   | 8<br>(1.0)                     | ◇主催<br>宮崎県<br>◇共催<br>宮崎県医師会<br>(連絡先)<br>宮崎県福祉保健部<br>健康増進課感染症対策室<br>☎0985-44-2620 |
|                                                                        | <b>【専門医共通講習②感染対策(必修)】事例提供</b><br>宮崎県立宮崎病院内科 医長 山中 篤志<br>他                     | 8<br>(1.0)                     |                                                                                  |
| <b>宮崎市郡外科医会<br/>3月例会</b><br>3月12日(月)<br>19:00～20:15<br>宮崎観光ホテル         | <b>2016年改訂 画像診断ガイドラインのポイント</b><br><b>ー腹部領域を中心にー</b><br>宮崎市郡医師会病院放射線科 科長 二見 繁美 | 7<br>(0.5)<br><br>53<br>(0.5)  | ◇主催<br>※宮崎市郡外科医会<br>☎0985-53-3434<br>◇共催<br>エーザイ(株)                              |
| <b>第20回南那珂感染<br/>対策セミナー</b><br>3月12日(月)<br>19:00～20:00<br>県立日南病院       | <b>輸血と副作用ー現状と対策についてー</b><br>宮崎県赤十字血液センター品質・情報課 課長 押川 秀次                       | 8<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5)  | ◇主催<br>※宮崎県立日南病院<br>☎0987-23-3111<br>◇共催<br>大日本住友製薬(株)<br>◇後援<br>南那珂医師会          |
| <b>南那珂医師会生涯<br/>教育医学会</b><br>3月12日(月)<br>19:00～20:00<br>南那珂医師会館        | <b>齦歯や歯周病が関係する全身疾患について</b><br>宮崎県立日南病院歯科口腔外科 鹿嶋 光司                            | 10<br>(1.0)<br><br>73<br>(1.0) | ◇主催<br>※南那珂医師会<br>☎0987-23-3411                                                  |

| 名称・日時・場所                                                                     | 演 題                                                                                 | CC<br>(単位)<br>がん検診         | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第24回児湯内科医<br/>会学術講演会</b><br>3月13日(火)<br>19:10～20:30<br>ホテル四季亭             | <b>下痢・便秘治療のup to date</b><br>宮崎大学医学部内科学講座消化器血液学分野<br>講師 山本 章二郎                      | 10<br>(1.0)<br>73<br>(1.0) | ◇主催<br>児湯内科医会<br>◇共催<br>アステラス製薬(株)<br>(連絡先)<br>児湯医師会<br>☎0983-22-1641            |
| <b>佐土原地区医師会<br/>学術講演会</b><br>3月15日(木)<br>18:50～20:30<br>シーガイアコンベンションセンター     | <b>CKDにおける薬剤性腎障害</b><br>古賀総合病院腎センター<br>センター長 久永 修一                                  | 73<br>(0.5)                | ◇主催<br>佐土原地区医師会<br>◇共催<br>※協和発酵キリン(株)<br>☎0985-22-8801                           |
|                                                                              | <b>甲状腺疾患あれこれ</b><br>古賀総合病院 名誉院長 栗林 忠信                                               | 21<br>(0.5)<br>22<br>(0.5) |                                                                                  |
| <b>日向市東臼杵郡医<br/>師会学術講演会</b><br>3月15日(木)<br>19:15～20:30<br>ホテルベルフォー<br>ト日向    | <b>糖尿病と動脈硬化ハイリスク患者における脂質管理の<br/>有用性(仮)</b><br>陣内病院循環器内科 部長 杉山 正悟                    | 75<br>(0.5)<br>76<br>(0.5) | ◇主催<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222<br>◇共催<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>MSD(株)<br>バイエル薬品(株) |
| <b>第60回ひむか運動<br/>器セミナー</b><br>3月16日(金)<br>19:00～21:00<br>宮崎観光ホテル<br>参加費:500円 | <b>変形性膝関節症の最新診断と薬物治療<br/>ー自験例から考えるー</b><br>東千葉メディカルセンター整形外科<br>リハビリテーション科 副部長 渡辺 淳也 | 61<br>(0.5)<br>62<br>(0.5) | ◇主催<br>ひむか運動器セミナー<br>◇共催<br>※日本イーライリリー(株)<br>☎092-724-0450                       |
|                                                                              | <b>骨折リスクの高い骨粗鬆症に対するテリパラチド使用<br/>のタイミング</b><br>JCHO埼玉メディカルセンター<br>副院長 児玉 隆夫          | 59<br>(0.5)<br>77<br>(0.5) |                                                                                  |

| 名称・日時・場所                                                                                        | 演 題                                                                      | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------|
| <b>美波セミナー in宮崎</b><br>3月16日(金)<br>19:00～20:30<br>宮崎観光ホテル                                        | <b>抗糖尿病薬 温故知新</b><br>宮崎大学医学部内科学講座<br>神経呼吸内分泌代謝学分野 助教 上野 浩晶               | 76<br>(0.5)                    | ◇主催<br>宮崎県内科医会<br>◇共催<br>※大日本住友製薬(株)<br>☎0985-29-5855 |
|                                                                                                 | <b>見直そう！グリニド薬ができる事はこんなにある！</b><br>東邦大学医学部内科学講座<br>糖尿病・代謝・内分泌学分野 教授 弘世 貴久 | 9<br>(1.0)                     |                                                       |
| <b>平成29年度養護教諭と医師のための性教育研修会</b><br>3月17日(土)<br>15:00～16:10<br>シーガイアコンベンションセンター                   | <b>思いがけない妊娠の背景と支援ー10代を中心にー</b><br>大阪府立病院機構大阪母子医療センター<br>母子保健調査室 室長 佐藤 拓代 | 71<br>(0.5)<br><br>72<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎県産婦人科医会<br>☎0985-22-5118                    |
| <b>第10回病診連携のタベー誤嚥性肺炎に対する当院の取り組み(特に摂食嚥下訓練について)ー</b><br>3月22日(木)<br>19:00～20:30<br>国立病院機構都城医療センター | <b>嚥下性肺炎の治療などについて</b><br>国立病院機構都城医療センター呼吸器内科 医長 今津 善史                    | 49<br>(0.5)                    | ◇主催<br>※国立病院機構都城医療センター<br>☎0986-23-4111               |
|                                                                                                 | <b>嚥下性肺炎を防ぐためにー歯科の立場からー</b><br>国立病院機構都城医療センター歯科口腔外科 新屋 俊明                | 49<br>(0.5)                    |                                                       |

| 名称・日時・場所                                                                   | 演 題                                                                                                | CC<br>(単位)<br>がん検診                        | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第10回宮崎脳神経外科懇話会</b><br>3月23日(金)<br>19:00～21:00<br>シーガイアコンベンションセンター       | <b>宮崎県における脳卒中診断体制の現状</b><br>宮崎大学医学部臨床神経科学講座<br>脳神経外科学分野 講師<br>大田 元                                 | 12<br>(1.0)                               | ◇主催<br>宮崎県内科医会<br>◇共催<br>※武田薬品工業(株)<br>☎0985-24-6763                                           |
|                                                                            | <b>Artery-to-artery embolismの病態解明</b><br><b>ー頸部頸動脈血行再建術を用いてー</b><br>岩手医科大学医学部脳神経外科学講座 教授<br>小笠原 邦昭 | 78<br>(1.0)                               |                                                                                                |
| <b>都城地区整形外科医会学術講演会</b><br>3月30日(金)<br>19:20～20:30<br>都城ロイヤルホテル             | <b>スポーツ膝障害から早期OAー運動器健康寿命の未来ー</b><br>大阪大学医学系研究科健康スポーツ科学講座<br>スポーツ医学 教授<br>中田 研                      | 61<br>(1.0)                               | ◇主催<br>都城地区整形外科医会<br>◇共催<br>アステラス製薬(株)<br>ファイザー(株)<br>◇後援<br>※都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711      |
| <b>第58回 宮 崎 県 スポーツ学会</b><br>3月31日(土)<br>15:00～19:00<br>県医師会館<br>参加費:1,000円 | <b>こどもたちの運動器の諸問題</b><br><b>ー運動器検診の現状と課題ー</b><br>古谷整形外科 院長<br>古谷 正博                                 | 11<br>(0.5)<br>72<br>(0.5)                | ◇主催<br>宮崎県スポーツ学会<br>◇共催<br>久光製薬(株)<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部整形外科教室<br>☎0985-85-0986 |
| <b>延岡医師漢方研究会講演会</b><br>4月5日(木)<br>19:00～20:30<br>ホテルメリージュ<br>延岡            | <b>高齢者医療における漢方治療</b><br><b>ー認知症の周辺症状を中心にー</b><br>けいめい記念病院脳神経外科<br>副院長<br>岡原 一徳                     | 21<br>(0.5)<br>29<br>(0.5)<br>83<br>(0.5) | ◇主催<br>延岡医師漢方研究会<br>◇共催<br>(株)ツムラ<br>延岡市西臼杵郡薬剤師会<br>◇後援<br>※延岡市医師会<br>☎0982-21-1300            |

| 名称・日時・場所                                                                                       | 演 題                                                           | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>高齢者医療を考える会</b><br>4月12日(木)<br>19:15～21:15<br>宮崎観光ホテル                                        | <b>認知症高齢者の診療の基本</b><br>けいめい記念病院 副院長 岡原 一徳                     | 47<br>(0.5)<br><br>48<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎県内科医会<br>◇共催<br>※武田薬品工業(株)<br>☎0985-24-6763                                |
|                                                                                                | <b>糖尿病とサルコペニアについて</b><br>光川内科医院 院長 光川 知宏                      | 21<br>(0.5)<br><br>22<br>(0.5) |                                                                                     |
| <b>第38回宮崎県臨床<br/>整形外科医会学術<br/>講演会</b><br>4月21日(土)<br>17:00～19:00<br>ホテルJALシティ<br>宮崎            | <b>骨粗鬆症薬剤の新薬ラッシュと当科の選択基準について</b><br>小牧病院 院長 小牧 亘              | 77<br>(0.5)                    | ◇主催<br>宮崎県臨床整形外科医会<br>◇共催<br>第一三共(株)<br>(連絡先)<br>ひらかわ整形外科クリニック<br>☎0985-28-8220     |
|                                                                                                | <b>発育性股関節形成不全の診断治療と最近の話題</b><br>宮崎県こども療育センター 所長 川野 彰裕         | 72<br>(0.5)                    |                                                                                     |
| <b>延岡医学会・第54<br/>回宮崎県北地区整<br/>形外科医会学術講<br/>演会</b><br>5月18日(金)<br>19:00～21:10<br>ホテルメリージュ<br>延岡 | <b>当院における変形性関節症のデュロキセチン使用経験</b><br>獅子目整形外科病院 院長 獅子目 亨         | 62<br>(0.5)<br><br>73<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎県北地区整形外科医会<br>◇共催<br>延岡医学会<br>塩野義製薬(株)<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |
|                                                                                                | <b>関節リウマチに対する外科治療</b><br>宮崎大学医学部感覚運動医学講座<br>整形外科科学分野 講師 濱田 浩朗 | 19<br>(0.5)<br><br>61<br>(0.5) |                                                                                     |

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

# 医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

## 医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

## 医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談  
無料



まずは、お電話ください。

## 宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

## 診療メモ



## 知っておきたい鎮痛薬の使い分け

一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団

潤和会記念病院 ペインクリニック科 立山真吾

## はじめに

受診された患者さんから時々「ペインクリニックってどういう意味ですか？どんな治療をするんですか？」と質問されることがあります。「痛み止めの薬やブロック注射などを行い、痛みの治療を専門的にを行います」と答えると、患者さんは「なるほど」と安心した表情になります。まだまだペインクリニックは一般的に認知されていないと痛感させられます。

近年、ペインクリニックでの痛み治療も進歩し、使用できる鎮痛薬が増え、ブロックも副作用なく長期間効果が持続する方法ができるようになりました。今回は鎮痛薬について要点を簡潔にまとめました。

## 痛みの治療法

痛みの治療を考えるにあたって、近年、痛みの原因でとらえる考え方が広がっています。①侵害受容性疼痛、②神経障害性疼痛、③非器質性疼痛です。これらが混在し、混合性疼痛の場合もあります(図1)。

痛みの治療法は、4つに分けられます。①薬物療法、②介入療法(手術療法、神経ブロック療法など)、③理学療法、④心理療法です。それぞれの最近の動向は次のとおりです。①薬物療法は、前述したように、使用できる鎮痛薬が増えてきました。②介入療法は、ブロックの新しい方法としてパルス高周波法(副作用なく長期間効果が持続する方法)ができるようになりました。また、脊髄刺激療法の機器の発達(MRI対応製品の登場、新しい刺激方法の登場)により、鎮痛効果が高くなっています。③理学療法と④心理療法は、痛みの治療に集学的治療という多職種のかかわりが必要と言われるようになり、リハビリテーションや心理療法の重要性が再認識されています。

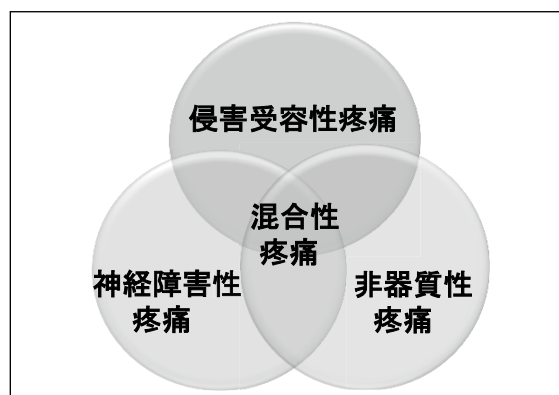


図1. 痛みの分類

## 薬物療法

## 1) NSAIDs, アセトアミノフェン

**キーワード：NSAIDsは短期間。アセトアミノフェンは安全域が広い。**

NSAIDsは、炎症性の痛みに、即効性があり、有効性が高いです。しかしながら、副作用の消化管障害、腎障害、心血管障害に注意が必要です。一方、アセトアミノフェンは、作用機序が未だ完全には解明されていませんが、末梢のPG合成にほとんど作用しないため、NSAIDsのような消化性潰瘍や腎障害、抗血小板作用がなく安全性が高いといわれています。高齢者への鎮痛薬について、米国老年医学会や日本老年医学会では、NSAIDsの使用はなるべく短期間にとどめて、アセトアミノフェンを第1選択薬とするよう推奨しています。アセトアミノフェンは一般的に効果が弱いと考えられていますが、2011年より用量拡大となり、1回の使用量が300～1,000mg、1日最大4,000mgまでに増えました。しっかりとした鎮痛効果を得るには、十分な用量が必要と考えられます。成人には1回

500～1000mgが必要と思われます。ただし、1日1,500mg以上使用する時には、定期的に肝機能検査を行うことが勧められています。さらに、市販の総合感冒薬、解熱鎮痛薬の多くにアセトアミノフェンが含有されていますので、市販の薬の使用を確認し、過量にならないよう注意しなければなりません。内服薬だけでなく、2013年11月からアセトアミノフェンの注射液も使用できるようになり、治療法が拡がりました。

## 2) オピオイド

**キーワード：**強い痛みには、早期から使用し、短期間の使用にとどめる。

慢性疼痛に使用できるオピオイドが増えてきています。トラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合錠、ブプレノルフィン経皮吸収型製剤、トラマドール塩酸塩徐放錠、トラマドール塩酸塩口腔内崩壊錠などがあります。初回投与時には、副作用である嘔気、眠気の出現を少なくするよう1日1回1錠寝る前からの使用が使いやすいと考えています。効果が乏しい場合には、徐々に回数を増やし、必要に応じて制吐剤や緩下剤を併用します。痛みが強い場合には、できるだけ早期からの使用がお勧めですが、保険適応では、慢性疼痛に対して認められていますので、少なくとも痛みが出現してから3か月以上経過しないと使用できません。オピオイドの乱用防止に気をつけて、過量にならないよう、痛みが軽減したら、直ちに減量して、使用期間を長くしないこともオピオイドをうまく使用するポイントと考えています。日本ペインクリニック学会が2017年7月に改訂した「非がん性慢性疼痛に対するオピオイド鎮痛薬処方ガイドライン」(図2)に、詳細に解説されています。

## 3) 鎮痛補助薬(抗うつ薬、抗けいれん薬)

**キーワード：**神経障害性疼痛が認められたら、直ちに使用を開始する。

抗うつ薬(三環系抗うつ薬、セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬)、抗けいれん薬(プレガバリン、ガバペンチン)は、世界でも日本でも神経障害性疼痛の第1選択薬に位置づけられています。日本では、日本ペインクリニック学会が2016年7月に改訂した「神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン」(図3)があり、この中にフローチャート(図3)が記載されています。抗うつ薬は、デュロキシセチン、アミトリプチリン、抗けいれん薬は、プレガバリンをよく使用しています。最初に使用する時には、副作用である嘔気、眠気の出現を少なくするよう1日1回1錠寝る前または夕食後からの使用が使いやすいと考えています。

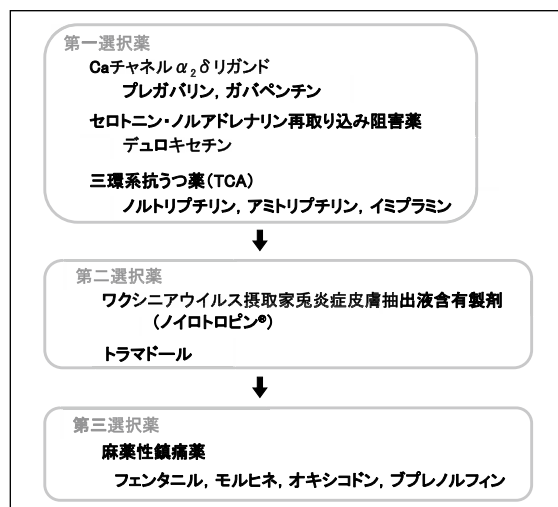


図3. 神経障害性疼痛薬物療法アルゴリズム



図2. ガイドライン

## おわりに

以上をふまえて、鎮痛薬の使い分けについて、図4にまとめました。実際の鎮痛薬の選択は、個々の患者さんで検討していただくわけですが、今回の使い分けを目安と考えていただき、今後の鎮痛薬選択に役立てていただけたらと思います。

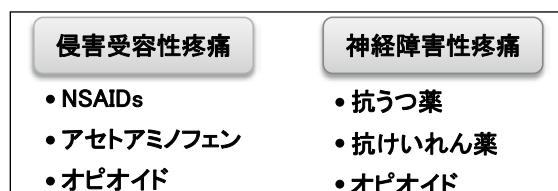


図4. それぞれの代表的治療薬

## 宮大医学部学生のページ



## 医師国家試験の現状と国試対策委員会の活動

宮崎大学医学部医学科5年 加藤 直之

今年度の国試対策委員長を務めさせていただきました、加藤直之と申します。私達国試対策委員が1年間活動してきた内容を踏まえ、医師国家試験の現状と国試対策委員会の活動内容についてご紹介させていただきます。

2月10・11日の2日間に渡り、第112回医師国家試験が施行されました。今年度は昨年度までと比べいくつか大きな変更点がありました。1つ目は日程の変更です。昨年度までは3日間500問でしたが、今年度より2日間400問となり、1日当たりの負担が増した状況となりました。2つ目は試験内容の変更です。必修問題・非必修一般問題・非必修臨床実地問題の3つの大枠こそ変わらないものの、単純な知識を問う非必修一般問題が100問減り、臨床的な応用力を問う臨床実地問題により重点を置くことが明言されました。3つ目は合格基準の変更ですが、これも”①必修問題得点率8割(絶対基準)②非必修一般・臨床実地問題の合計が基準を超える(合格率が9割程度となるような相対基準)③禁忌肢選択が3問以下の3つ全てを満たすこと”という大枠は変わらないものの、今まで②に関して一般・臨床それぞれに合格基準があったものが2つの合計で合格基準を設定する形となり、それに合わせ配点が一般各1点臨床各3点から一般各1点臨床各1点へと揃えられました。

さて宮崎大学の昨年度の合格率ですが、新卒生94.2%、既卒生27.3%、全体87.7%であり、新卒生の順位は全80医学部中、56位(108回) 72位(109回) 31位(110回) 34位(111回)と推移しております。この結果を踏まえて今年度受験生が行ってきた学習内容は、自習室での勉強や模試の受験等の個人主体の学習と、実習や卒業試験、国試直前レビュー講義等の大学主体の学習がメインになります。

個人学習は国家試験予備校の講義動画の視聴や、過去の国試問題集の演習が中心となります。模試に関しては5年生が年度末に1回、6年生では年間6回の計7回行っており、そのうち自宅受験が3回、大学での全体受験が4回となりました。なお、この模試につきましては大学より2回分、医学科後援会より2回分の受験料補助をいただいております。

大学主体の勉強に関しては主に3つの点があげられます。まず6年前半の病院実習で、各診療科にて臨床に即した知識・手技を教えていただいております。臨床実地により重きを置く傾向にある国試への対策としてはこれからより一層重要になってくると思われます。2点目は例年9～10月に1か月間で行われる卒業試験で国家試験を意識した問題を各診療科の先生方に作成していただいております。卒業試験の勉強が国試

へ直結するようになってきております。最後に国試直前レビュー講義に関してです。12月中旬の2週間と1月上旬の3日間に渡って、各科の先生方による頻出問題の解説と新聞予想が行われました。今年度より宮崎大学医療人育成支援センターの先生方が中心となり、6年生へのアンケート調査や国試問題の傾向分析等が行われ、より即戦力となる知識を教えていただけようになりました。

では続きまして、私達国試対策委員会について説明させていただきます。国試対策委員は医学科3年～5年、各学年4名ずつの計12名で構成されます。最高学年である5年生はそれぞれ委員長、副委員長、会計、模試係の役職に就き、下級生の協力のもと、国家試験期間中の受験補助や模試の監督、各予備校への窓口等の仕事を行います。国家試験期間中の仕事内容は、宿泊場所や交通手段の手配、ホテルの各部屋や共用スペース(自習室など)のセッティング、当日の会場までの往復バスの手配および添乗、昼食の用意、緊急時の対応などになります。このように基本は事務的な作業が中心となっており、国試期間における体調面・精神面のサポートに関しては、帯同の先生方に対応していただいております。またこれらに加え、年に2回九州・山口圏内の医学部の国試対策委員会が集まる会議に出席し、各大学の国試とCBT (Computer Based Testing)の結果や対策状況の共有、次年度運営への改善点の議論などを行っております。

最後に、今年度の国家試験に関して報告いたします。受験生の先輩方は先述した日程変更の影響もあり、試験終了が18時半、会場出発が19時過ぎと大変なスケジュールでしたが、全員無事受験を終えることができました。左下の写真は宮大の国試対策委員のトレードマークとなっているオレンジ色のベンチコートの写真になります。試験会場で他大と宮大の国試対策委員を見分け辛いという意見から一昨年より導入され、暗い会場でも非常に分かりやすく、受験生からも大変好評でした。そして私達国試対策委員も、国試最終日の夜の大雪によって翌日にかけて高速道路が通行止めとなり、一時帰宅困難となるトラブルもありましたが、なんとか事故等なく全員無事宮崎へ戻ることができました。先生方を始め、今回の国試帯同に関してお世話になりました方々へこの場を借りて改めて御礼申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。私が国試対策委員として働く期間もあと少しとなりましたが、最後まで気を引き締めて頑張りたいと思います。長文となりましたが、最後まで御高覧いただきましてありがとうございました。



## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課にお問い合わせください(TEL 0985-22-5118)。

またMMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

| 送付日     | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12月28日  | ・「死体解剖資格認定要領の一部改正について」の様式差替について                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 1 月 5 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・抗インフルエンザウイルス薬の安定供給等について</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について</li> <li>・宮崎県肝疾患診療ネットワークの肝疾患専門・協力医療機関指定更新に係る調査及び指定申請書の提出について</li> <li>・風しんに関する特定感染症予防指針の一部改正について</li> <li>・「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について</li> </ul> |
| 1 月 9 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「医療費適正化に関する施策についての基本的な方針」の一部改正について</li> <li>・難病および小児慢性特定疾病の患者に対する医療費助成に係る経過措置の終了に伴う指定医療機関における医療受給者証の確認等について</li> <li>・指定難病及び小児慢性特定疾病医療費助成に係る経過措置の終了について</li> <li>・がんゲノム医療中核拠点病院等の整備について</li> <li>・共済組合員証の無効通知について</li> </ul>                             |
| 1 月10日  | ・母子健康手帳の任意記載事項様式の改正について                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 1 月11日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.133」の提供について</li> <li>・医療ガスの安全管理について</li> <li>・刑務共済組合組合員証の無効について</li> </ul>                                                                                                                                                          |
| 1 月12日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li> <li>・風しんに関する特定感染症予防指針の一部改正等について</li> <li>・「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について</li> <li>・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> <li>・使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正等について</li> </ul>                                                                |

| 送付日    | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 月15日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器の添付文書の記載例について(その6)</li> <li>・平成30年度診療報酬改定に係る諮問書及び議論の整理(現時点の骨子)の送付並びにパブリックコメント募集へのご投稿について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 1 月16日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年 4 月 1 日以降の要介護認定制度等について</li> <li>・防衛医科大学校テロ対策セミナーについて</li> <li>・平成29年度医療介護提供体制改革推進交付金(地域医療介護総合確保基金)の介護分の内示について(第2回目)</li> <li>・コリネバクテリウム・ウルセランスによるジフテリア様症状を呈する感染症患者に関する情報について</li> <li>・「ワンヘルスに関する連携シンポジウムーヒトと動物の共通感染症ー」の開催について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                         |
| 1 月19日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師資格証の提示による医師の資格確認について</li> <li>・職業安定法等の改正の施行に向けた周知への取組について</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第53条の11第1項の規定に基づく届出について</li> <li>・高病原性鳥インフルエンザ(H5亜型)が疑われる事例の発生について</li> <li>・乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの供給等について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 1 月22日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度税制改正について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 1 月23日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・“風疹ゼロ”プロジェクト(日本産婦人科医会)について</li> <li>・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 1 月25日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・偽造医薬品の流通防止に係る省令改正に関するQ&amp;Aについて</li> <li>・神経麻痺分野の小口径コネクタ製品の切替えについて</li> <li>・「保険者協議会開催要領」の一部改正について</li> <li>・ワクチン類等の添付文書等の記載要領について</li> <li>・ワクチン類等の添付文書等の記載要領の留意事項について</li> <li>・添付文書等における「製法の概要」の項の記載について</li> <li>・医療事故情報収集等事業第51回報告書の送付について</li> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> <li>・オランザピン製剤の使用に当たっての留意事項について</li> <li>・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No134」の提供について</li> <li>・偽造医薬品等の不適正な医薬品の流通防止の徹底について</li> </ul>                                                                                |
| 1 月26日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コリネバクテリウム・ウルセランスによるジフテリア様症状を呈する感染症患者に関する情報について</li> <li>・高病原性鳥インフルエンザ(H5亜型)が疑われる事例の発生について</li> <li>・「新生児聴覚検査の実施について」の一部改正について</li> <li>・後天性免疫不全症候群及び性感染症に関する特定感染症予防指針の改正について</li> <li>・ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種に関するリーフレットについて</li> <li>・「臓器の移植に関する法律」の運用に関する指針(ガイドライン)および細則の一部改正について</li> <li>・「『特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令別表3における障害の認定について』の一部改正について」等の周知依頼について</li> <li>・後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の改正に係る留意事項について</li> <li>・刑務共済組合組合員被扶養者証の無効について</li> <li>・平成29年度訪問看護ステーション等整備費補助金について</li> </ul> |

# あとかき



つい先日医師国家試験、看護師国家試験があり、先輩や同期を見送ってきました。先輩に国試まであっという間だよと言われ、自分も2年後に受けなければならないのだと、少しずつ実感が湧いてきました。とは言いながらも、まだビデオ講座も取っていないければ国試用の問題集も買っていません…。勉強しなきゃなと思うのですが、暇な時間を見つけてはゲームをし

ております。私がいま一番ハマっているのが「モンスターハンター:ワールド」というゲームです。プレイステーション4(PS4)のゲームソフトなのですが、いまかなり人気のように全世界出荷本数が600万本を突破したらしいです。私の周りでもたくさんの人がこのゲームをプレイしています。モンスターハンターは昔から人気のあるシリーズの作品で、私は友人の誘いにより今回のゲームから初めて参加しました。今回の作品は新大陸と呼ばれる場所でモンスターを狩ったり、捕まえたりしながら新大陸の生態を調べていくという内容になっています。プレイヤーは自分のキャラを作り、ハンターとしていろんなモンスターを倒していくのですが、モンスターと戦うための武器や防具にはいろいろな種類があり、自分の好みのものを作ることで個性を出すことができます。また強い敵を倒すことでより強い武器や防具を作ることができるのでとてもやりこみ甲斐のある楽しいゲームとなっています。映像も動きもとてもきれいで本当に面白いので、興味のある方はぜひやってみてください！

(二見)

\* \* \*

HOLT JAPANのレンズ(エクステンション パル ISシリーズ)が良いと聞き、さっそく、遠近両用眼鏡を作成してみました。このレンズは一人ひとりの度数、手元を見る距離、左右の目の幅を考慮して近用部の位置を設定しているので視野が拡大し、かなり見やすいとの触れ込みです。このレンズをspec espaceのフレームに組み込んだのですが、かなり軽いのでジョギングを始めたくまりました。

(沖田)

\* \* \*

いつも以上に寒かった冬も終わりを迎えて、少し暖かさを感じるようになりました。寒さが苦手な私にとっては嬉しいけれど、「空から恐怖の大魔王が降ってくる」時でもあります。スギ花粉です。2月末の時点ですが、「来てます、来てます」。くしゃみ、鼻水ほかもろもろの症状が出て、体調も悪くなります。病気のつらさが身に沁みます。毎年、「今年はいけるかも」と根拠のない期待もあるのですが、できる工夫を頑張っ

(西田)

\* \* \*

「ヒポクラテスの木」が県医師会館に植樹されていることを最近知りました。ヒポクラテスがこの木の下で医学を教えたとの言い伝えがあります。日本では実の垂れ下がる様子が木に鈴を吊るしたように見えることからすずかけの木とも呼ばれ、宮崎大学医学部医学科同窓会の名称にも使われているそうです。先日見に行ったのですがこの時期は落葉して寂しい感じでした。夏に葉が覆い茂った立派な姿を見に行こうと思います。

(中村)

\* \* \*

3歳からクラシックバレエをしている長女は踊ることが大好きで、次女と二人毎晩りビングで宿題もせず踊っていると思っていたら、最近、長女の中学校で、体育祭の時に全校生徒で踊る創作ダンスのオーディションがあったようです。ダメ元で受けたようですが、なんと合格！これから全校生徒の前でリーダーとしてダンスの指導をするそうです。毎朝、「TWICE」が流れる我が家は、学業なんて関係のないバブリー？な一家です。

(野村)

\* \* \*

このあとかきを書くのもいよいよ最後となりました。学生広報委員を始めさせていただいた時は2年という任期は長いような気がしていましたが、過ぎてみるとあっという間で驚きました。来月から6年生となり、クリクラ実習、卒業試験、医師国家試験を経て働き始めますが、この2年で学んだことを大切に、これからもがんばっていききたいと思います。余談ですが、今月3/16金に清武文化会館小ホールにて、私の妹と姉妹でピアノのコンサートを開催します。お時間ある方はぜひお越しください。

(馬場)

\* \* \*

空港近くの駐車場に車を停めて出張した夫から「車の窓が開いたままだと『うっかり通知メール』が届いたので、窓を閉めてきてほしい」と連絡がありました。車から通知が届くのもIoTの技術よねと感じながら駐車場に向かい、係の人に事情を話すと「ああ、窓が開いている車ならこちらですよ」と。しかし、指差す先は「うちの車ではありません」。同じ日に窓を開けたまま飛行機に乗ったうっかりさんが他にもいるなんて！と驚きつつ窓を閉め、帰途につきました。

(荒木)

\* \* \*

## 今月のトピックス

### 日州医談 地域における若手医師不足問題について

かつて医師数は過剰といわれ医学部定員削減策がとられていましたが、いつの間にか逆に医師不足が叫ばれるようになりました。平成19年以降医学部の定員は増員され、それに伴い全国の医師数も増え続け、現在31万人以上になっています。しかし、地方における医師不足は改善しておりません。その原因の一つが新臨床研修制度といわれており、来年度から始まる新専門医制度がさらに拍車をかけるのではないかと危惧されています。地域における若手医師不足問題について米澤勤理事に解説していただきました。

4 ページ

### 随 筆 忘れ難い入れ墨、久しぶりのガーデニング、若山健海と『種痘人名録』についての考察

今月は3編の随筆を掲載しております。情景が目に浮かぶ傑作です。日本に牛痘苗がもたらされてから、わずか3年後に日向で牛痘種痘が行われたことには驚かされました。しかも、それを施行したのが若山牧水の祖父だとは。

6 ページ

### 診療メモ 知っておきたい鎮痛薬の使い分け

近年、痛みはその原因をとらえて治療していくという考え方が広がっているようです。「彼を知り己を知れば百戦殆からず」ということでしょうか。日本ペインクリニック学会専門医の立山真吾先生に痛みの分類や治療法、および鎮痛薬の使い分けやその使用上の注意点を詳しく解説していただきました。

62 ページ

## 日 州 医 事 第823号(平成30年3月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 沖田 和久・副 委 員 長 西田 隆昭, 岡本健太郎  
委 員 中村 豪, 野村 勝政, 馬場 萌子, 二見 旬祐  
山崎 俊輔, 稲倉 琢也, 上山 貴子, 柴野 雅資, 泉 摩依  
担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 荒木 早苗, 佐々木 究  
事 務 局 学術広報課 立山 幸恵, 牧野 諭

印刷所 愛文社印刷株式会社・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。  
定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)